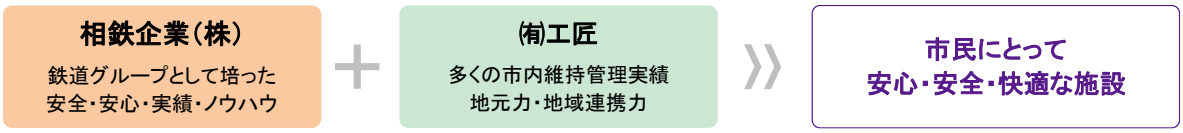
団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書
2 施設の管理
(1)施設・設備の維持管理

(1)施設・設備の維持管理

安全・安心・快適な環境のご提供

・本施設は、ホールをはじめ様々な施設が展開されるということもあり、日々多くの方が来館されます。当団体は来館されるすべての方々に常に安全・安心・快適な環境を提供するため、法令に基づく保守管理は勿論、今後、想定される設備の劣化状況に適応した維持管理計画を策定し、藤沢市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の安全を確保します。
・本施設の設備業務及び清掃業務は、構成企業の工匠が常駐にて担当し、ビルメンテナンス経験の豊富な相鉄企業がサポートする形で施設の維持管理を行います。
・施設の維持管理においては、日々の予防保全、計画的な修繕を行い、安全・安心・快適な施設を市民の皆様に提供いたします。相鉄企業の多数の管理実績と経験を活かし、専門的な視点で優先的な修繕を行い、施設利用者の安全を確保することを保全の基本とします。

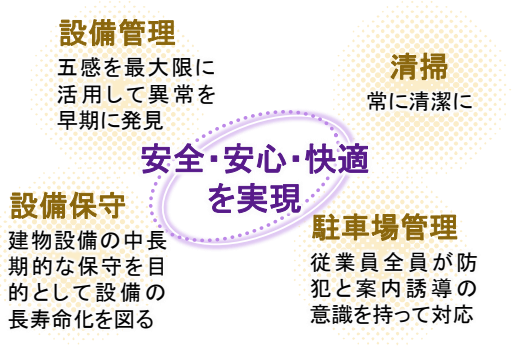


維持管理業務体制

各業務の基本的な考え方

設備管理（常駐）～五感を最大限に活用して異常を早期に発見～

・施設の設備管理に熟練した設備管理担当を常駐させ、不具合発見時の即応性を確保します。
・日常点検では、設備機器の劣化状況や不具合箇所を早期発見し補修に努めることで、設備の長寿命化と安全で安心な環境を最優先とした設備管理を実施します。
・また、日常点検時、定期点検時に確認した不具合については、不具合状況を継続してデータ化し、建物独自の傾向をより深く把握することで、同様の事例が発生した際の迅速な対応に繋げ、施設の快適な空間を常に維持します。



各業務の取組方針

自主点検チェック表(日常)「火気関係」　2025年3月

実施責任者		長谷川 弘志			担当区域		
		実施項目					
日	曜日	ガス器具のホース老化・損傷	電気器具の配線老化・損傷	火気設備器具の設置・使用状況	倉庫等の施錠確認	その他(共用部分の可燃物の有無等)	
1	土						
2	日						
3	月						
4	火						
5	水						
6	木						
7	金						
8	土						
9	日						
10	月						
11	火						
12	水						
13	木						
14	金						
15	土						
16	日						
17	月						
18	火						
19	水						
20	木						
21	金						
22	土						
23	日						
24	月						
25	火						
26	水						
27	木						
28	金						
29	土						
30	日						
31	月						

(備考)　不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。
(凡例)　○…良　×…不備・欠陥　△…即時改修

自主点検チェック表(日常)「閉鎖障害等」

実施責任者			担当範囲			
実施日時						
実施項目		確認箇所	チェック状況	チェック状況	チェック状況	チェック状況
避難障害	避難口	全　館				
	廊下避難通路	全　館				
	階段	全　館				
閉鎖障害	防火戸・防火シャッター	全　館				
操作障害等	屋内消火栓	全　館				
	自動火災報知設備	全　館				
備　考						

(備考)　不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。
(凡例)　○…良　×…不備・欠陥　△…即時改修

日常点検表のフォーマット

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書
2 施設の管理
(1)施設・設備の維持管理

設備保守（非常駐）～建物設備の中長期的な保守を目的として設備の長寿命化を図る～

・建物設備の品質・性能を長期にわたって維持していくために、当社では製造メーカー推奨の保守会社での保守を実施しています。
・設置機器に一番詳しい製造メーカーの万全なメンテナンスにより長期にわたる設備の長寿命化を提供します。

清掃（常駐）～常に清潔に～

・常に施設を清潔・快適な空間に保つとともに、お客様の利用状況を最優先に考え、利用者の妨げにならないように業務を実施します。
・定期的な「清掃研修」によりスタッフの技術向上を図ります。


清掃業務の様子

駐車場管理（常駐・非常駐）～スタッフ全員が防犯と案内誘導の意識を持って対応～

・本施設ではスタッフが定期的に施設を巡回し安全を確認します（1 日 3 回以上）
・また、駐車場の満車時には近隣の民営駐車場等に案内・誘導し、周辺道路の混雑を未然に防ぎ、近隣の住民に迷惑をお掛けしないように配慮します。

保守管理業務について

・維持管理は「予防保全・即時対応・履歴管理」の 3 軸で実施します。
・本施設の内装・外装（建築物保守管理）については、常駐者による日常点検(1 日 2 回以上)に加え、点検表を用いて月 1～2 回の巡回目視点検を実施します。
・本施設の建築設備については、常駐者による日常的な管理点検に加え、各機械器具の自主点検を月 1 回実施するとともに、法令に基づく点検業務を各委託業者と連携して年間計画に整理し、計画的・効率的・重層的に本施設の予防保全型の維持管理を推進します。
・日常点検・保守点検等で施設・設備の不具合の早期発見に努め、異常発見時は一次対応を当日中、重大案件は即時対応とし、藤沢市内業者 30 社以上のネットワークを活用して迅速に復旧を行います。1 件 20 万円未満は貴市へ報告のうえ、指定管理者の判断で修繕を実施し、その額を超える場合は、貴市と協議させていただきます。上記修繕はデータベース化を行い、修繕計画の立案に役立てます。
・保守管理に関する施設維持管理年間計画（案）は次ページの表のとおりです。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

2 施設の管理

(1)施設・設備の維持管理

施設維持管理年間計画：保守管理（案）

点検内容	頻度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
加圧給水装置保守点検	1	回/年				●								
ろ過設備保守点検	1	回/年							●					
消防設備保守点検	2	回/年			●						●			
防火対象物点検	1	回/年						●						
中央監視装置及び自動制御機器保守点検	1	回/年					●							
音響・映像設備保守点検	1	回/年							●					
舞台照明設備保守点検	1	回/年										●		
空冷ヒートポンプチラー保守点検	2	回/年				●				●				
空調設備点検	2	回/年				●				●				
自家用電気工作物保守点検	12	回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
非常用発電機設備保守点検	2	回/年			●					●				
太陽光発電設備保守点検	1	回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
監視カメラ設備保守点検	1	回/年					●							
駐車場管制設備保守点検	2	回/年						●						●
音声案内装置保守点検	1	回/年					●							
表示設備保守点検	1	回/年											●	
電波時計設備保守点検	1	回/年											●	
エレベーター保守点検	12	回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
シャッター点検	1	回/年									●			
電話交換設備点検	1	回/年										●		
防火設備点検	1	回/年							●					
地下タンク保守点検	1	回/年			●									
自動ドア保守点検	4	回/年			●			●			●			●
建築設備定期検査	1	回/年							●					
特定建築物定期検査	1	回/3年							●					
ピアノ保守点検	3	回/年				●				●				●
GHP保守点検	1	回/年			●									

運営状況により実施月を変更する場合がある。また状況に応じて実施回数を増加する場合がある。

環境衛生管理業務について

・本施設の清掃業務については、常駐者による毎日の日常清掃と年間計画に基づく定期清掃に加え、必要に応じて実施する臨時清掃を組み合わせ、常に施設内および施設外周の清潔を保持します。

・具体的には、「藤沢市藤沢市民センター・労働会館等複合施設建物総合管理標準仕様書」に則り、清掃作業基準表・日常清掃作業計画書・業務点検表などを作成し、利用者などに配慮して作業を行っています。

・清掃に使用する用具については、必要に応じて順次より高度な用具を採用します。特にワックス塗布等への配慮に必要な床面清掃については、自走式自動床洗浄機やAI清掃ロボットを採用し、高度化と効率化を進めています。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

2 施設の管理

(1)施設・設備の維持管理



こうしょうくん（AI ロボット）

・AI 掃除ロボット「こうしょうくん」は、広い床面清掃を安定して担い、作業状況をメール送信により確認できる仕組みを活用しています。人の手による重点清掃とロボットによる定常清掃を役割分担することで、清掃品質の均一化と現場管理の効率化を実現しています。**1 日平均約 2 時間、年間約 700 時間稼働**しており、これは清掃作業員の年間稼働時間の約 8%に相当します。ロボットが定常清掃を担うことで、清掃作業員は重点清掃など人の手が必要な作業に注力でき、限られた人員でも効率的で質の高い清掃を実現します。

・清掃等に使用する薬剤については、すべて安全シート（SDS）を確認し、人体への安全・安心を最優先します。日常清掃では、会議室利用後の毎日の清掃業務に「スペースショット万能環境クリーナー」を使用し、ノロウイルス、O-157、新型コロナウイルスなどに有効な界面活性剤を活用しています。感染症対策を徹底するとともに、安全性と経済性にも配慮した清掃を実施します。

・本施設内の水質については、飲料水の残留塩素を毎週測定して管理するとともに、水質検査と受水槽等設備の清掃・点検を定期的に実施します。空気環境測定は各室２か月に１回実施します。

・また、室内および植栽の害虫等の調査は毎月実施し、防除・駆除は必要に応じて即時実施します。

・敷地内の植栽管理については、定期的な業者管理に加え、常駐者による日常管理の中で適宜手入れや刈り込みを行います。また、美観や季節感を重視した管理を行います。

・環境衛生管理に関する施設維持管理年間計画（案）は下表のとおりです。

施設維持管理年間計画：衛生・清掃（案）

点検内容	頻度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受水槽清掃	1	回/年				●								
雑排水槽清掃	2	回/年					●						●	
中水槽清掃	1	回/年									●			
床面定期清掃	2	回/年		●						●				
換気扇・排気口清掃	2	回/年			●					●				
ガラス清掃	2	回/年				●					●			
照明器具清掃	2	回/年					●						●	
飲用水水質検査	2	回/年					●						●	
井水検査	1	回/3年	●											
簡易専用水道検査	1	回/年												●
雑用水水質検査	6	回/年	●		●		●		●		●		●	
空気環境測定	6	回/年	●		●		●		●		●		●	
害虫防除	12	回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
植栽管理	2	回/年				●				●				
建築物環境衛生管理技術者選任業務	12	回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
排水管高圧洗浄作業	2	回/年				●						●		

運営状況により実施月を変更する場合がある。また状況に応じて実施回数を増加する場合がある。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

2 施設の管理

(1)施設・設備の維持管理

環境衛生管理における感染症等感染予防対策項目

・環境衛生管理業務における感染症予防対策としては、現在も接触頻度の高い什器類、建具、トイレ等に対し、必要に応じて消毒効果を持つ薬剤を使用し、衛生環境を維持しています。以下の項目を継続的に実施する予定です。

【館内清掃】

・不特定多数が触れやすいすべての場所および用具の殺菌消毒
・より殺菌効果の高い薬剤の使用
・ビニール手袋の使用（水拭き、殺菌消毒時）
・機械清掃適用場所、清掃ロボット適用場所の拡充（人的清掃機会の削減）



館内設置の手指消毒剤

【空気清浄化】

・機械空調設備等による十分な館内・室内換気
・二酸化炭素測定器設置による換気タイミング（窓・ドア開閉）の利用者へ向けた意識啓発

【利用者・スタッフの手指の殺菌消毒推進】

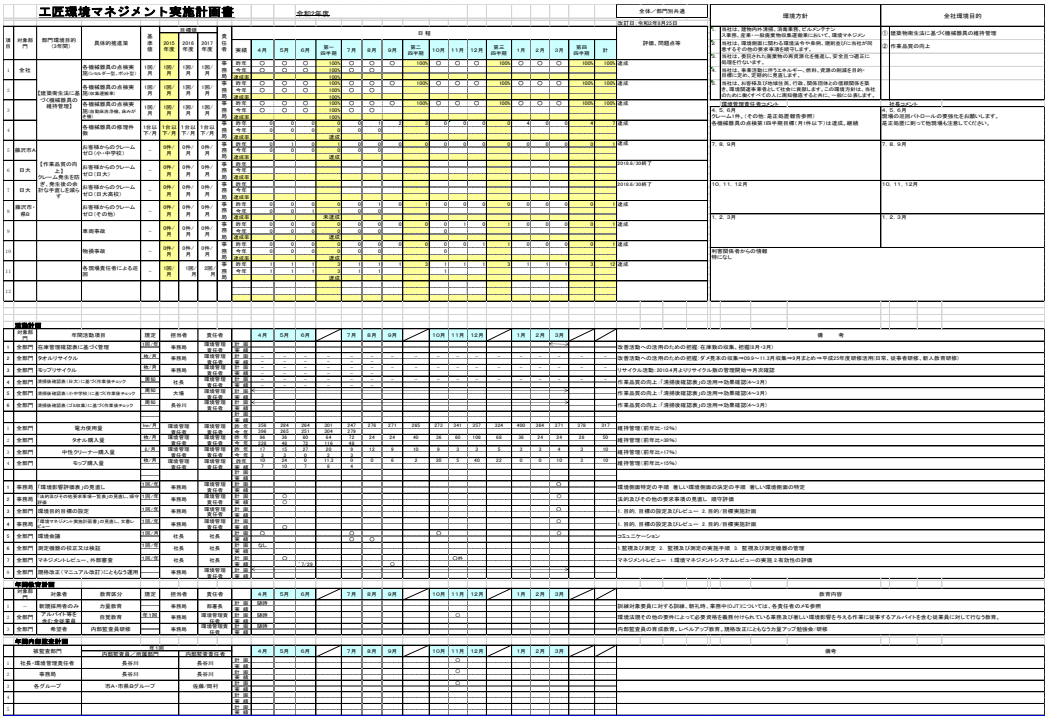
・施設出入口（玄関・各部屋）やトイレ洗面台での手指の殺菌消毒薬の設置
・エレベーターホールや各階ホワイエなど、利用者・スタッフの館内動線上への手指の殺菌消毒薬の設置

【維持管理・清掃スタッフの感染予防等】

・こまめな手洗い・うがい、手指のアルコール消毒の励行・感染しにくい健康状態の維持（推奨）

維持管理コストの低減

・PDCA マネジメントサイクルによる業務改善を推進し、“顧客満足から顧客感動へ”を目標に、ライフサイクルコストの削減を実現します。
・PDCA マネジメントの具体例として、毎月 1 回の定期環境会議を通し、各現場の情報収集、予防保全、現場巡回結果とセルフモニタリング報告に基づく改善を実施しています。
・定期環境会議において、維持管理コストを最小限にするための管理方法、省エネルギー化を徹底した光熱費、消耗品等の記録・調査・検討も行っています。



工匠環境マネジメント実施計画書

令和3年度

環境方針

全社環境目的

維持管理費

年間教育計画

年間内部監査計画

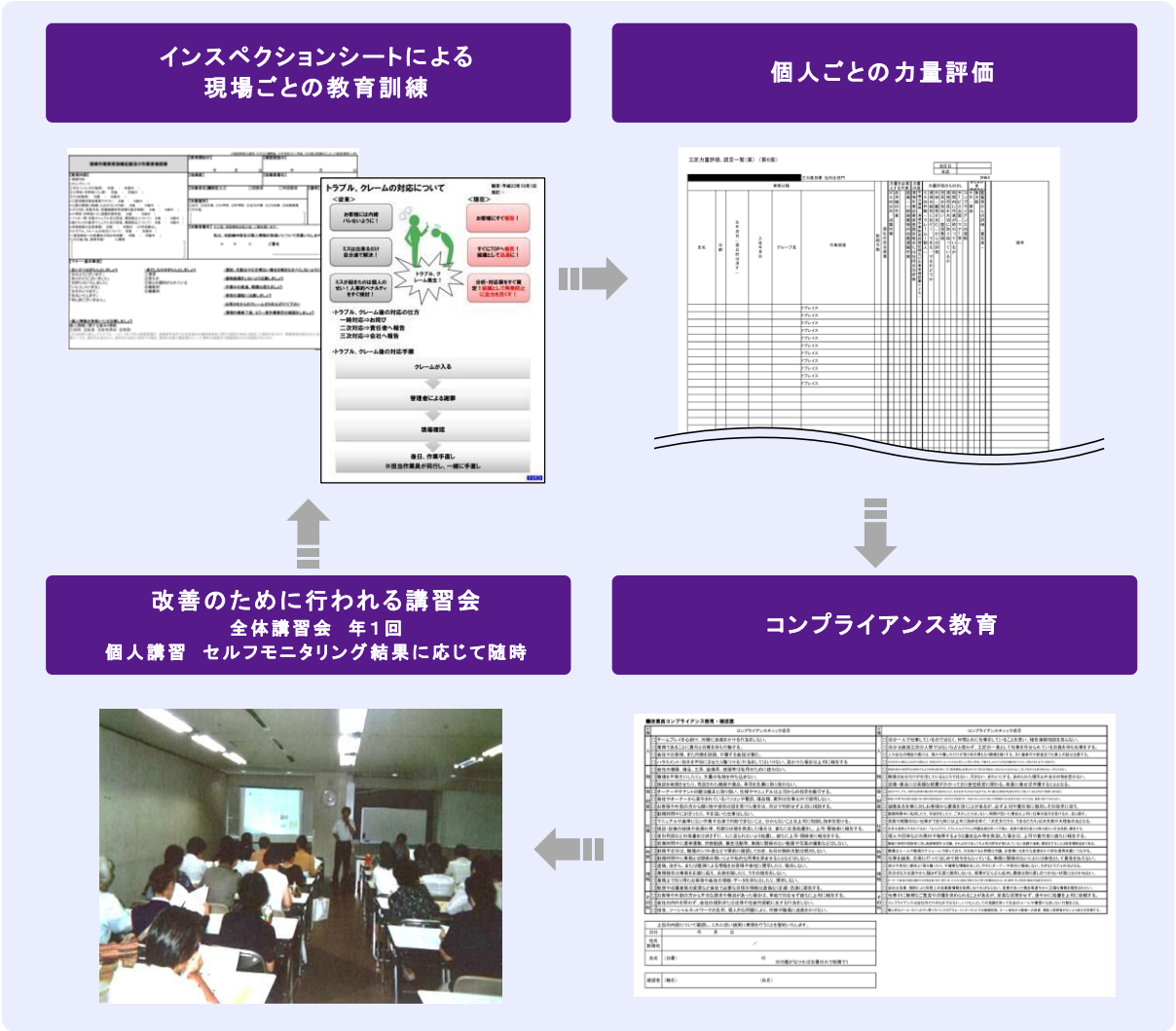
環境マネジメント実施計画書に基づく維持管理コスト記録

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書
2 施設の管理
(1)施設・設備の維持管理

清掃・設備スタッフへの改善指導等

・清掃・設備スタッフの育成・能力向上のため、毎月１回以上のセルフモニタリング結果に基づき、個人講習会を随時実施しています。また、半期に１度、個人毎の力量評価をインスペクション資格者複数名が社内査定を行い、結果に応じた講習会（全体講習会は年 1 回、個人講習会は随時）を実施します。
・清掃・設備スタッフへの法令遵守の認識を高めるため、徹底したコンプライアンス教育を行っています。



清掃・設備スタッフの育成に向けた取り組み

・清掃・設備スタッフの健康管理については、まず外部機関のストレスチェックを年１回行い、産業医に結果を診断してもらい、従業員の心と体のストレスケアに役立てています。
・熱中症対策については、対策アイテムとしてあめの配布（塩分補給）、冷却タオルの配布（体温調節）などを行い、熱中症予防に努めています。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

3 危機管理体制

(1)防犯・防災体制

(2)緊急時の対応

(1)防犯・防災対策

だれもが安全・安心で快適な環境を

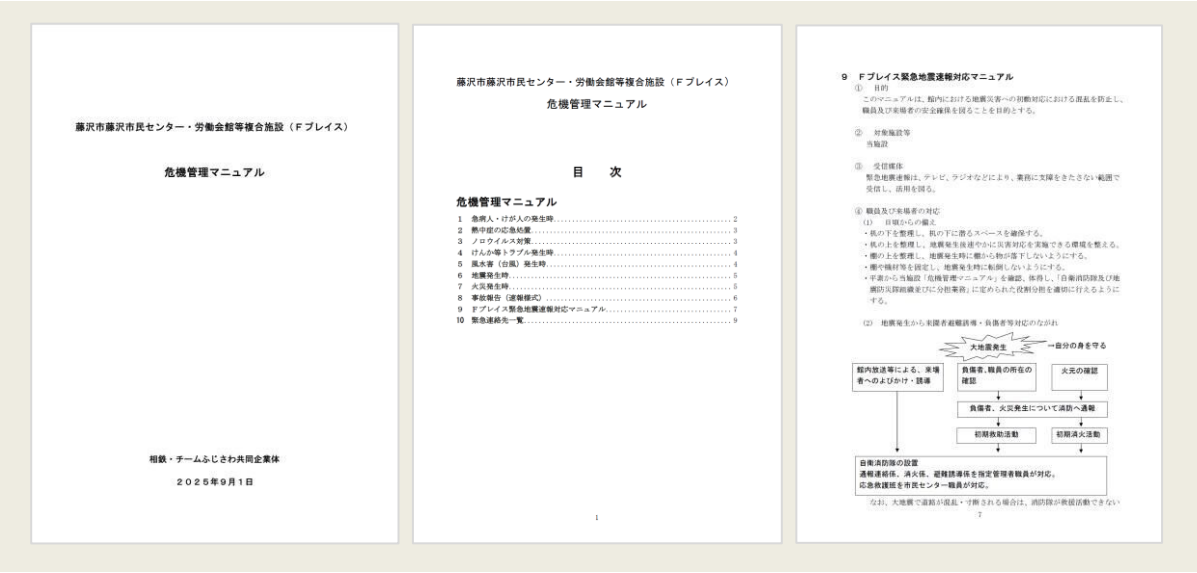
・子どもから高齢者まで、多くの利用者が訪れる公の施設として事故や犯罪等が起こらないよう、常に緊急時に備え、安全・安心で快適な環境を提供・確保することは施設を管理するうえで最も重要なテーマです。

・しかし、本施設は、誰もが自由に出入りできるうえに、事務所から目の行き届かないスペースも少なくありません。当団体では、事故防止や犯罪の未然防止、災害への対策につき次のように取り組みます。

防犯・防災マニュアルの整備

・当団体では、統一されたマニュアルを整備し活用します。勤務するすべてのスタッフに周知することで事件・事故、災害をはじめとする非常時への対応力強化を図ります。

・特に自主事業時などに災害が発生した場合には、大きな混乱を招く虞があります。避難計画は十分に理解し、日頃よりシミュレーション等のチェックを欠かさないように努めます。


藤沢市藤沢市民センター・労働会館等複合施設（Ｆプレイス）

危機管理マニュアル

相鉄・チームふじさわ共同企業体

２０２５年９月１日

藤沢市藤沢市民センター・労働会館等複合施設（Ｆプレイス）

危機管理マニュアル

目　次

危機管理マニュアル

1　急病人・けが人の発生時……2
2　熱中症の応急処置……3
3　ノロウイルス対策……3
4　けんか等トラブル発生時……4
5　風水害（台風）発生時……4
6　地震発生時……5
7　火災発生時……5
8　事故報告（速報様式）……6
9　Ｆプレイス緊急地震速報対応マニュアル……7
10　緊急連絡先一覧……9

9　Ｆプレイス緊急地震速報対応マニュアル

① 目的

このマニュアルは、館内における地震災害への初動対応における混乱を防止し、職員及び来場者の安全確保を図ることを目的とする。

② 対象施設等

当施設

③ 受信媒体

緊急地震速報は、テレビ、ラジオなどにより、業務に支障をきたさない範囲で受信し、活用を図る。

④ 職員及び来場者の対応

(1) 日頃からの備え

・机の下を整理し、机の下に潜るスペースを確保する。
・机の上を整理し、地震発生後速やかに災害対応を実施できる環境を整える。
・棚の上を整理し、地震発生時に棚から物が落下しないようにする。
・棚や機材等を固定し、地震発生時に転倒しないようにする。
・平素から当施設「危機管理マニュアル」を確認、体得し、「自衛消防隊及び地震防災隊組織定例に分担業務」に定められた役割分担を適切に行えるようにする。

(2) 地震発生から来館者避難誘導・負傷者等対応の流れ

大地震発生 → 自分の身を守る

館内放送等による、来場者へのよびかけ・誘導

負傷者、職員の所在の確認

火元の確認

負傷者、火災発生について消防へ通報

初期救助活動

初期消火活動

自衛消防隊の設置
通報連絡係、消火係、避難誘導係を指定管理者職員が対応。
応急救護班を市民センター職員が対応。

なお、大地震で道路が混乱・寸断される場合は、消防隊が救援活動できない

防犯･防災マニュアル

防犯対策

【定期的な施設巡回の徹底（1 日 3 回)】

・本施設は、施設長をはじめとするその他設備スタッフ、舞台スタッフや清掃スタッフ全員が防犯の意識をもって、常に五感を使うことを意識しながら、様々な角度から施設の安全を守るとともに、不審物の発見、体調不良者・不審者の早期発見に努めます。

・巡回時にスタッフが声掛けを実施することによりいたずらや迷惑行為の未然防止を図ります。

・特に子どもが利用する「藤沢こどもの家」や保育室のある 4 階は巡回頻度を多くするなど、エリアごとにセキュリティレベルを考慮して安全・安心を提供します。


施設巡回

【充実した研修による人材育成と専任講師によるアドバイス】

・代表企業に所属する防災の専任講師（元消防署長）の専門的なアドバイスのもと、藤沢市地域防災計画に則った運営マニュアルや指定管理者独自の災害対応マニュアルを整備、適宜更新を図りながら、統一性のある運営を行います。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

3 危機管理体制

(1)防犯・防災体制

(2)緊急時の対応

▌防災対策

【F プレイス内施設合同避難訓練の実施】

・火災、地震等の災害に備え、年 2 回以上の F プレイス内施設合同避難訓練等を実施します。

・消火器の使用方法や、避難経路図に沿った避難誘導方法等を記した災害対応マニュアルをもとにした訓練に加え、消防署の協力のもとシミュレーションに沿った訓練を行い評価やアドバイスまで受けるようなレベルの高い避難訓練も実施することで、全スタッフのさらなる防災意識の向上を実現します。

・災害時に全スタッフが役割に沿って迅速に行動できるように必要な情報を把握し、緊急時には適切な避難誘導ができるように日頃から周知を徹底します。



避難訓練

【防災備蓄品の確保】

・公の施設として、緊急事態を想定した準備は欠かせません。当団体は緊急時を想定し、水、保存ビスケット、アルミブランケット等防災備蓄品をホール収容人数である 300 名分用意し、緊急時に備えており、緊急時には貴市や連携機関からの指示のもと対応します。

・備蓄品の内容については、本施設の福祉避難所としての役割のもと、実態を見ながら要望を調査し、随時更新していきます。

・直近では 2026 年 3 月に入替を実施しました。



防災備蓄品

【緊急時の安否確認連絡訓練】

・代表企業の相鉄企業では大規模災害を想定した緊急時の安否確認訓練を年 2 回実施しています。

・大規模災害等の際には、代表企業が運用する緊急時専用のクラウド型情報共有システム、「BCPortal」を活用し、迅速かつ的確な情報伝達体制を構築します。



「「BCPortal」集計画面

・スタッフは規定のメールフォームを使用して、災害種別、被害者・負傷者の有無、被害状況等を本部へ速やかに報告し、本社においては各人・各現場の状況を一覧で即座に把握できるため、適切な初動対応が可能となります。

・写真の貼付機能により現場の状況を視覚的に共有でき、ネット環境があれば PC やスマホから、いつでもどこからでも報告や閲覧が行えます。

・従業員個人の安否状況は、気象庁の緊急通知と連動した安否確認システム「エマージェンシーコール」を活用し、スマホや PC に加えて電話でも回答が可能であり、上記 BC ポータルとの連動により安否確認と被害状況報告を一体的に実施できます。



災害時のメールフォーム

【藤沢市消防団協力事業所としての地域防災協力体制】

・構成企業工匠は、藤沢市消防団協力事業所として登録されており、地域の消防・防災活動に協力する体制を有しています。藤沢市消防団協力事業所は、従業員の消防団活動への配慮や災害時の協力等を通じ、地域の消防防災体制の充実強化に寄与する事業所を認定する制度です。

・当社には消防団分団に所属する社員が在籍しており、火災・災害等により出動要請があった場合には、業務上の調整を行い、必要に応じて業務を一時中断して消防団活動へ協力できる体制を整えています。

・平常時には防災意識の共有や初動対応力の向上に努め、緊急時には地域消防活動への協力を可能とすることで、F プレイスの防犯・防災体制だけでなく、藤沢市全体の安全・安心にも貢献します。



消防団協力事業所

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

3 危機管理体制

(1)防犯・防災体制

(2)緊急時の対応

災害発生時の対策

本施設の防災における位置づけ

・本施設は、「藤沢市地域防災計画」に定められた「地区防災拠点本部」としての役割を担っており、大規模災害発生時の重要施設であると認識しています。

・そのため、災害発生時には、正確な災害情報収集、貴市担当者との情報共有、地元町内会などと連携を取り、地域避難住民や帰宅困難者の受け入れや速やかな備蓄品の配布、公共交通機関の情報提供等を迅速に行います。対応にあたっては、藤沢市民センターや入居団体と十分な連携を図ります。

様々な自然災害に対応できる体制づくり

・昨今では超大型台風による被害、局地的大雨による被害、集中豪雨の頻発による土砂災害、竜巻被害などが各地で多発しています。

・本施設では、減災に向けて地域市民へ「土砂災害・洪水ハザードマップ」や「液状化マップ」、「土のうの無料配布」等の行政による取組の存在を周知し、予防対策の意識を啓発していきます。

【FM++（えふえむぷらぷら）の活用】

・「レディオ湘南」防災と地域情報交流及び難聴エリア解消を目的としたアプリです。インターネットを利用して音声や文字放送を放送局より受信することができます。

・スタッフは朝礼・昼礼時や休憩の際にチェックをし、有益な最新情報をピックアップしてその日の施設運営に役立てます。

レディオ湘南

【ふじさわ防災ナビ・ふじさわキュンマップの活用・案内】

・貴市における都市計画情報、まちづくり情報、指定道路図、藤沢市道、下水道台帳、防災情報、救急情報、くらし情報、その他情報を、インターネットを通じてわかりやすく公開・提供しているサイト・冊子です。

・案内用チラシを館内に掲示し、QR コードからアクセスできるようにします。



ふじさわキュンマップ

自然災害への対策一覧

自然災害		対策
台風･大雨（ゲリラ豪雨等）	事前	･台風･大雨等の気象情報をリアルタイムで入手し、施設の事前点検を行います。 ･必要に応じて土のうや防潮板等の災害対応設備を設置します。 ･気象情報をもとに貴市と相談し、閉館する場合は館内アナウンスを行います。
	発生時	･利用者の状況を確認し、負傷者がいる場合は、応急手当や救急車を依頼します。
	事後	･台風通過後には、施設の巡回を行い、危険が想定される箇所が発見された場合は立入禁止措置を講じ、修繕を実施します。
火災	発生時	･火災現場を早急に確認し、利用者の避難誘導、初期消火を実施します。 ･利用者の状況を確認し、負傷者がいる場合は、応急手当や救急車を依頼します。
	事後	･鎮火後の現場検証の立会いや施設の事後点検を行います。
地震	発生時	･警報発令時には、利用者の避難誘導を行います。
	事後	･利用者の状況を確認し、負傷者がいる場合は、応急手当や救急車を依頼します。 ･建物、設備等の確認を行い、損傷がある場合は直ちに立入禁止措置を講じます。
大規模地震	発生時	･貴市の指示に従い、災害対策本部等の措置に協力します。 ･市民の受入れや食料･毛布等の配給を行います。 ･本部から支援を受け、被害拡大防止を図ります。
	事後	･建物･設備等の確認を行い、損傷がある場合は直ちに立入禁止措置を講じます。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

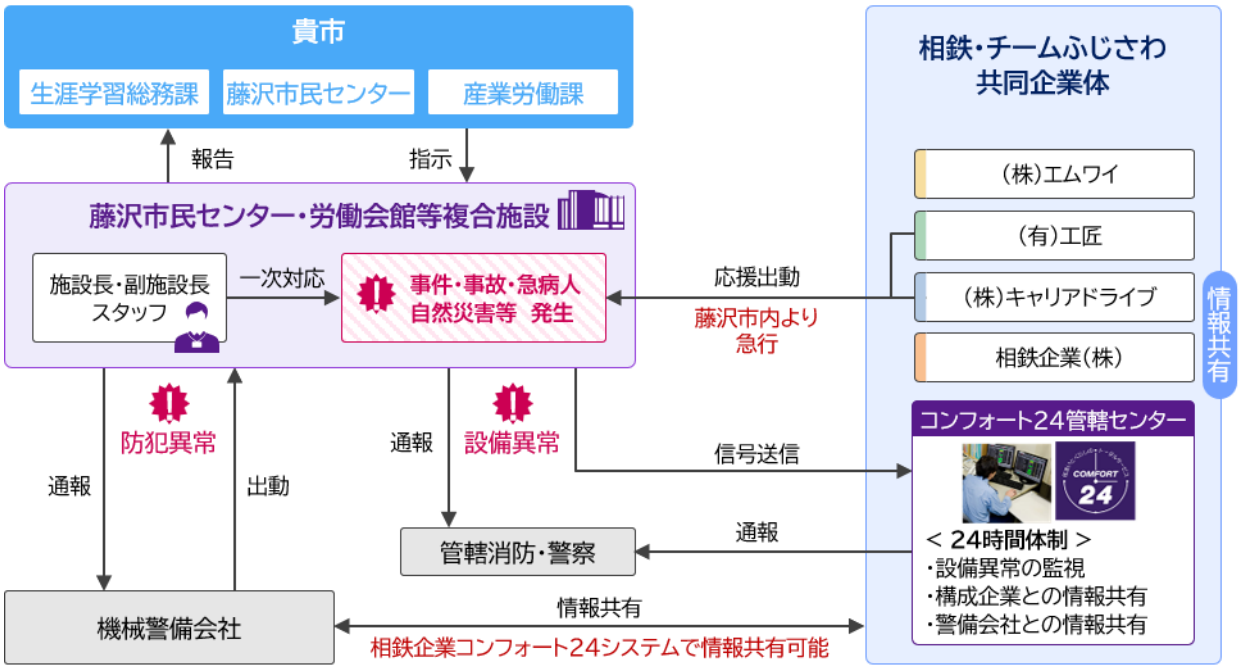
3 危機管理体制

(1)防犯・防災体制

(2)緊急時の対応

(2)緊急時の対応

緊急時の体制図



緊急時体制図

緊急時対応体制の構築

・緊急時においても利用者が安心して施設を利用できるよう、共同企業体各社と連携しながら緊急時対応体制を構築します。
・就労支援スタッフについては、緊急時マニュアルや避難誘導手順等を共有し、災害・事故発生時には館内スタッフと連携して迅速な初動対応を行います。
・また、社内の防火管理者を中心として、営業時間中の利用者対応や避難誘導、緊急時の声掛け対応等に関する研修・訓練を定期的に実施し、利用者の安全確保に努めます。

開館時間外の発災時対応

・深夜等開館時間外に発災、警報が発令した場合は、開館時間外であっても速やかに現地に急行して開館を行い貴市担当者と連携をとります。
・また、構成企業の工匠及びキャリアドライブは貴市に本社があり、迅速な対応及び情報収集が可能です。

相鉄企業の「コンフォート 24」

・相鉄企業の機械警備部門「コンフォート 24」により、24 時間体制の設備異常の監視と、構成企業各社とのリアルタイムな情報共有により迅速な対応を実現します。
・なお、同システムは大手警備会社の警備システムとの情報共有が可能です。
（セコム、アルソック、セントラル警備保障、全日警）

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

3 危機管理体制

(1)防犯・防災体制

(2)緊急時の対応

緊急時のバックアップ体制

・構成企業のうち 2 社が貴市に本社を構え事業展開しており、他 2 社も貴市内に店舗、管理物件が多数あることから、緊急時の急派や災害時の連携が可能です。

＜貴市内に本社拠点＞

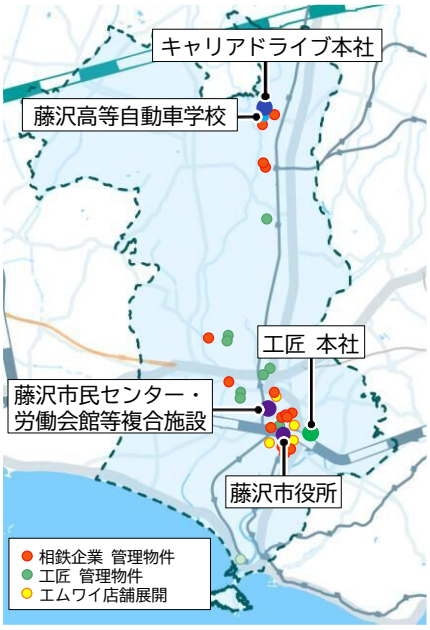
工匠（本社）本社所在地：藤沢市村岡東四丁目
（本施設から約 3.5km）

主な工匠管理物件（他貴市内に学校施設 55 校を含む計 278 施設を管理）

キャリアドライブ本社所在地：藤沢市土棚 800

＜貴市に店舗展開及び管理物件あり＞

エムワイ：市内に飲食店ヨンドングループを 5 店舗展開
キャリアドライブ：藤沢市内に「藤沢高等自動車学校」を展開
相鉄企業：貴市内（特に藤沢駅付近）に管理物件多数



施設との位置関係

緊急時対応実績

【2023 年 6 月 2 日～3 日の台風 2 号による避難者受入れの事例】

日	時間	事象／対応	備考
6/2(金)	13:05	大雨警報発令	
	21:30	避難者受入れ要請あり	
	22:15	避難者家族受入れ	※避難者4名
6/3(土)	14:40	避難者全員帰宅	※施設長夜間対応

〈被害状況〉　雨漏り(1 階駐輪場、3 階スロープ側通路、4 階自動扉前通路、5 階共有スペース通路)
〈開放した諸室〉 和室

【2024 年 1 月 21 日～22 日の倒木被害による避難者受入対応での事例】

日	時間	事象／対応	備考
1/21(日)	9:30	藤沢公民館主幹より、倒木のため避難の可能性ありと連絡	
	9:45	避難決定のため、4 階保育室 9～22 時の仮押さえの依頼	
	10:00	防災課職員 1 名来館	
	11:20	高齢男性が避難	
	12:30	3 名が避難	
1/22(月)	8:30	一時避難者退出(行先がホテルに決定)	

〈被害状況〉　なし

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

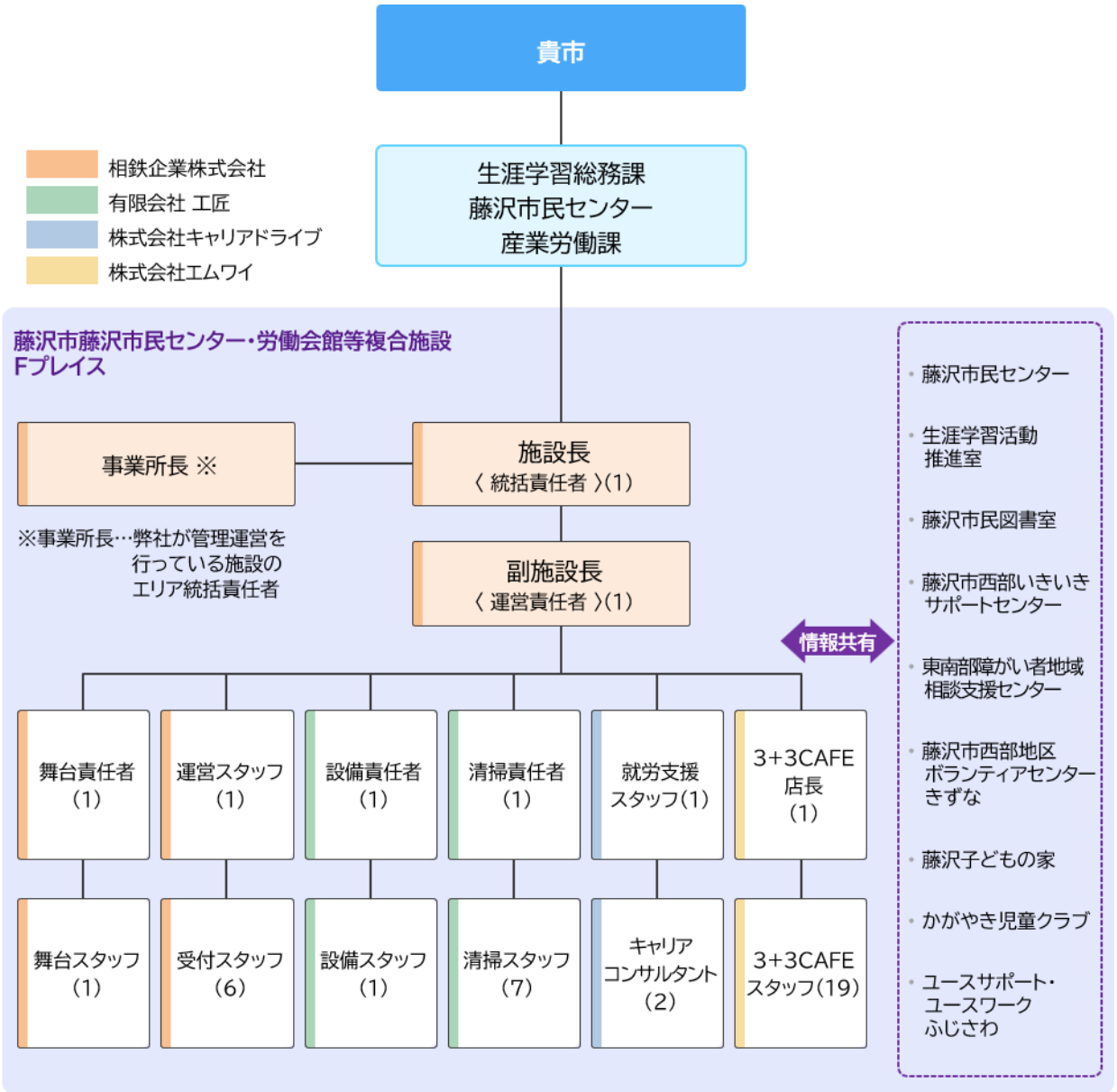
(3)効率的な運営

(1)人員体制

運営組織の考え方

・公の施設、民間施設にかかわらず、施設運営にあたり最も重視すべきことは、「安全・安心な管理運営」です。
・運営・舞台・設備・清掃・就労支援・レストランそれぞれに責任者を配置し、各社の特色を活かし、効率的かつ円滑に業務を遂行できる運営体制を継続します。
・組織体制は下図のとおりとし、個々の専門知識やノウハウを運営に活かしつつ、施設長を中心とし、統一された常に高いサービス、ホスピタリティを提供します。

組織図



組織図

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

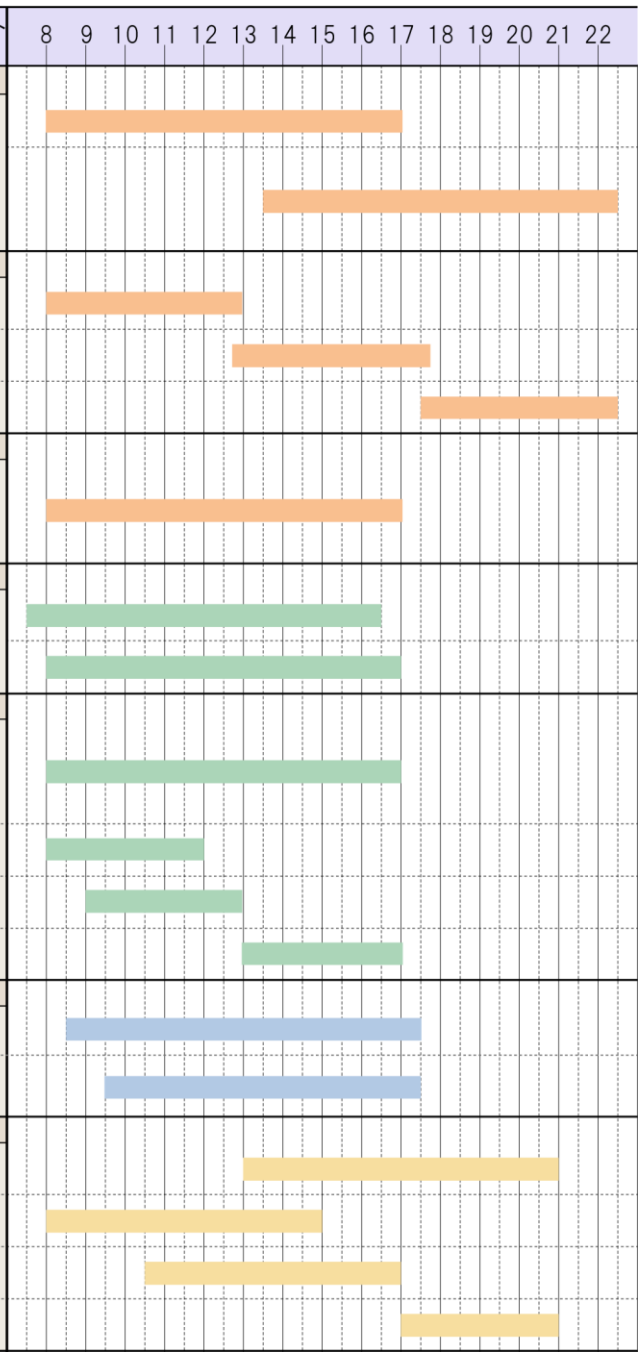
(3)効率的な運営

勤務体制（案）

・利用者の安全性、利便性の確保を前提として効率的な運営を行います。
・スタッフの勤務交代時には、連絡事項等を円滑に引き継ぎ、確実な情報共有を行います。
・スタッフは施設の稼働状況等を考慮のうえ臨機応変に対応することで利用者サービスを向上させます。また、繁忙時には各社の本社スタッフが応援に入り、円滑な運営を行います。
・スタッフは地元からの採用を基本とし、地元雇用の活性化に努めます。

勤務体制表

名称	時間	日数	要員数	ポスト数
受付業務				
施設長	8:00～17:00	年中無休	3名	2P
副施設長	13:30～22:30			
運営スタッフ	13:30～22:30			
受付業務				
受付スタッフ	8:00～13:00	年中無休	6名	1P
受付スタッフ	12:45～17:45			1P
受付スタッフ	17:30～22:30			1P
舞台業務				
舞台責任者	8:00～17:00	休館日を除く毎日	2名	1P
舞台スタッフ	8:00～17:00			
設備業務				
設備責任者	7:30～16:30	休館日を除く毎日	2名	1P
設備スタッフ	8:00～17:00			
清掃業務				
清掃責任者	8:00～17:00	年中無休	2名	1P
清掃スタッフ	8:00～17:00			
清掃スタッフ	8:00～12:00	年中無休	6名	2P
清掃スタッフ	9:00～13:00			1P
清掃スタッフ	13:00～17:00			1P
就労支援業務				
就労支援スタッフ	8:30～17:30	年中無休	1名	1P
キャリアコンサルタント	9:30～17:30	週4日	2名	1P
レストラン業務				
レストラン店長	13:00～21:00	年中無休	20名	1P
レストランスタッフ	8:00～15:00	年中無休		3P
レストランスタッフ	10:30～17:00	年中無休		3P
レストランスタッフ	17:00～21:00	年中無休		3P



※就労支援スタッフは、8:30～17:30 の時間帯に年中無休で 1 日 1 名を配置し、窓口業務、利用者対応、セミナー運営等を行います。また、働き方相談室は水･木･金･日の週 4 日実施し、キャリアコンサルタント 2 名のうち、実施日ごとに 1 名を配置します。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

(3)効率的な運営

業務内容・職能

専門性を持ちながらも、連携のとれた体制

・施設の用途に応じた最適な要員を配置します。また、共同企業体各社の特性を活かしたスタッフの配置と連携により、施設長を中心に指定管理期間中、万全な体制で管理運営を実施します。

役職毎の業務内容

役職	業務内容	職能･経歴	雇用形態
施設長	･統括責任者(監督･決裁) ･施設の代表者としての対外折衝(区･管理組合･自治会･商店会･企業･学校･各種団体･関係施設等) ･個人情報保護 ･事業の実施･計画	･施設管理運営のマネジメント経験者 ･行政、社内外の調整対応能力 ･管理経験 10 年以上	正社員
副施設長(1 名) 運営スタッフ(1名)	･総務、経理事務 ･予算･決算の作成 ･月次モニタリング資料作成 ･地域連携事業の企画立案 ･事業の実施･計画 ･積極的な広報活動(館外･館内広報、広報メディア対応、電子広報管理)	･施設管理運営のマネジメント経験者 ･収入の管理、会計書類の作成能力 ･館長のサポート経験者	正社員 パート
受付スタッフ(6 名)	･受付案内業務 ･貸室日程管理	･親切丁寧な接客応対能力	パート
舞台責任者(1 名) 舞台スタッフ(1 名)	･舞台設備の管理 ･舞台設備及び進行等について利用者へのアドバイス ･事業当日の管理実施	･優れた舞台設備の操作技術 ･構成演出の提案能力 ･舞台設備のメンテナンス技術	正社員 パート
設備責任者(1 名) 設備スタッフ(1 名)	･施設維持管理業務(設備運転･保守管理、清掃等) ･修繕計画の作成、実施	･設備責任者経験 19 年(責任者) ･設備研修を受講 ･設備維持管理能力および不具合の一次対応、小破修繕対応技術	正社員 パート
清掃責任者(1 名) 清掃スタッフ(7 名)	･日常清掃業務 ･不審者、不審物の発見	･清掃責任者経験 8 年(責任者) ･清掃法定研修を受講 ･イベントなどに併せた業務対応能力	正社員 パート
就労支援スタッフ(1 名) キャリアコンサルタント (2名)	･個別就労相談 ･講座の計画･運営 ･貴市関係部署との連携 ･障がい者就労支援施設との連携 ･ハローワーク「35 歳からの就職応援コーナー」との連携	･キャリアコンサルタント有資格 ･高いコミュニケーション能力 ･親切丁寧な対応能力	正社員
レストラン店長(1 名) レストランスタッフ(19 名)	･調理 ･売上仕入れ等の金銭管理 ･職業体験	･高い調理技術(イタリア料理等)(店長) ･親切丁寧な接客応対能力	正社員 パート

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

(3)効率的な運営

勤務シフト（案）

・オレンジ上段３名は原則２交代制、中段（受付スタッフ）は３交代制、下段（舞台担当）は利用状況に応じて変動制とします。

・毎月第３月曜日の休館日（施設点検日）の出勤者は、原則２名以上とします。

勤務シフト表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
館長	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○
副館長	■	休	休	○	■	■	○	■	休	休	○	■	■	○	■	■	休	○	■	■	○	■	休	休	○	■	■	○	■	休	■
運営スタッフ	休	■	■	■	休	休	■	休	■	■	■	休	休	■	休	休	■	■	休	休	■	休	■	■	■	休	休	■	休	■	休
受付スタッフ①	◎	休	◎	◎	休	休	◎	休	◎	◎	休	休	◎	休	休	◎	◎	休	休	◎	◎	休	◎	◎	休	休	◎	◎	休	◎	休
受付スタッフ②	▲	休	▲	▲	休	休	▲	休	▲	▲	休	休	▲	休	休	▲	▲	休	休	▲	▲	休	▲	▲	休	休	▲	▲	休	▲	休
受付スタッフ③	□	休	□	□	休	休	□	休	□	□	休	休	□	休	休	□	□	休	休	□	□	休	□	□	休	休	□	□	休	□	休
受付スタッフ④	休	◎	休	休	◎	◎	休	◎	休	休	◎	◎	休	◎	◎	休	休	◎	◎	休	休	◎	休	休	◎	◎	休	休	◎	休	◎
受付スタッフ⑤	休	▲	休	休	▲	▲	休	▲	休	休	▲	▲	休	▲	▲	休	休	▲	▲	休	休	▲	休	休	▲	▲	休	休	▲	休	▲
受付スタッフ⑥	休	□	休	休	□	□	休	□	休	休	□	□	休	□	□	休	休	□	□	休	休	□	休	休	□	□	休	休	□	休	□
舞台責任者	休	○	○	休	休	○	○	休	○	○	休	休	休	○	休	○	○	休	休	○	休	休	休	○	休	休	○	○	休	○	○
舞台スタッフ	○	休	休	○	○	休	休	○	休	休	○	○	○	休	○	休	休	○	○	休	休	○	○	休	○	○	休	休	○	休	休
設備責任者	休	○	○	休	休	○	○	休	○	○	休	休	休	○	休	○	○	休	休	○	○	休	休	○	休	休	○	○	休	○	○
設備スタッフ	○	休	休	○	○	休	休	○	休	休	○	○	○	休	○	休	休	○	○	休	休	○	○	休	○	○	休	休	○	休	休
清掃責任者	○	休	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○	休	○	○	○	○
清掃スタッフ①	休	○	○	休	○	○	○	○	休	○	休	休	○	○	○	○	○	休	○	○	○	○	○	休	休	○	○	○	○	○	○
清掃スタッフ②	△	△	△	△	休	休	△	休	△	△	△	休	△	休	休	△	△	△	休	△	△	休	△	△	休	休	△	△	休	△	休
清掃スタッフ③	△	休	△	△	休	△	△	休	△	△	休	休	△	休	休	△	△	休	休	△	△	休	△	△	△	休	△	△	休	△	△
清掃スタッフ④	◆	休	◆	◆	休	休	◆	休	◆	◆	休	休	◆	休	休	◆	◆	休	休	◆	◆	休	◆	◆	休	休	◆	◆	休	◆	休
清掃スタッフ⑤	△	△	休	休	△	△	休	△	△	休	△	△	休	△	△	△	休	△	△	△	休	△	休	△	△	△	休	休	△	休	休
清掃スタッフ⑥	休	△	休	△	△	△	休	△	△	休	△	△	休	△	△	休	△	△	△	休	休	△	△	休	△	△	△	休	△	休	△
清掃スタッフ⑦	休	◆	休	休	◆	◆	休	◆	休	休	◆	◆	休	◆	◆	休	休	◆	◆	休	休	◆	休	休	◆	◆	休	休	◆	休	◆
就労支援スタッフ	○	○	休	休	○	○	休	○	○	休	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○	休	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○
キャリアコンサルタント	休	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○	休	○	○	休	○	○	○	休	○	休	○	○	○	○	休	○	○	休	○	○
レストラン店長	■	■	■	休	■	■	休	■	■	■	休	■	■	休	■	■	■	休	■	■	休	■	■	■	休	■	■	休	■	■	■
レストランスタッフ	8:00～21:00の間、毎日3名以上が勤務いたします。																														

凡例

〈施設長・副施設長〉	〈受付スタッフ〉	〈舞台・設備・就労支援〉	〈清掃〉	〈レストラン店長〉
○ 8:00～17:00	◎ 8:00～13:30	○ 8:00～17:00	○ 8:00～17:00	■ 13:00～21:00
■ 13:30～22:30	▲ 12:45～17:45		△ 8:00～12:00	
	□ 17:30～22:30		◆ 13:00～17:00	

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

(3)効率的な運営

充実した研修による人材育成

ホスピタリティとスキルを兼ね備えた人材育成へ

・代表企業は社内に常時専任講師のいる研修施設を有し、各種国家検定取得者をはじめ、設備管理、環境管理、清掃、建設などの各種資格取得者を育成しています。
・スタッフの接遇の向上を常に意識し、コミュニケーション教育や各種研修を全社員に対して実施するなど、よりハートフルな対応ができるようマナー研修に力を注いでいます。全社員が職種にとらわれず各種研修を受講し、自らの業務レベルの向上意欲の持った質の高い人材育成に努めています。
・共同企業体で統一された運営マニュアルや予約システム運用マニュアルを整備し、随時見直しを図りながら統一性のある運営を行います。


代表企業大和研修センター

当社の指定管理施設では、独自で下記のような資格取得を課しています。

おもてなしの心 **サービス介助士**



心肺蘇生・AED操作 **普通救命**



具体的な研修内容

■採用時研修

項　目	内　容	頻　度	対　象
採用時研修	・経営理念や経営方針 ・社会人としてのマナー、仕事の基本仕事の手順 ・接客の基本事項、挨拶、苦情対応	採用時	全スタッフ
基本業務研修	・業務に必要な基本知識・技術の習得		
サービスマナー講習	・利用者に対する基本的な接遇マナー		
人権研修	・人権に関する基本研修		
コンプライアンス研修 指定管理者研修	・指定管理施設で勤務するうえでの必要な法令等の習得 ・施設の設置目的、市の施策についての理解		
予約システム研修	・e-Kanagawa 施設予約システムの取り扱い		

■一般研修

項　目	内　容	頻　度	対　象
サービスマナー研修	・ホスピタリティあふれる利用者対応のための接客の基本マナー向上	年1回	全スタッフ
CSR 全員研修	・CSR に対する意識の醸成、理解促進を目的としたビデオを用いた研修	年1回	全スタッフ
ノーマライゼーション研修	・「公共サービス窓口における配慮マニュアル」(内閣府障がい者対策推進本部発行)に沿った接遇研修	年1回	全スタッフ
情報公開と個人情報保護研修	・個人情報の取扱いルールや留意点の確認 ・公の施設としての必要な情報公開の考え方 ・情報公開と個人情報保護をめぐる課題と、動向、公文書管理、情報セキュリティ等に関する講義・演習等による専門的知識の習得	年1回	全スタッフ
危機管理対策訓練	・オンライン専用情報ツール(BC ポータル、エマージェンシーコール)を使用した安否確認などの伝達方法の確認	年 2 回	全スタッフ
救命講習・AED 講習	・職員による怪我の手当てや心肺蘇生を行うため、普通救命講習(AED 使用法、応急措置法、CPR(心肺蘇生法)等)を受講	年1回	全スタッフ
	・上級救命講習(AED 使用法、応急処置法、CPR(心肺蘇生法)等)を受講	年1回	希望者
消防訓練・防災訓練	・F プレイス全体での合同避難訓練や消火訓練を実施	年2回以上	全スタッフ
防火管理講習	・防火管理講習や法令改正等に伴う講習等を適宜受講し、施設管理において万全の体制とする	適宜	防火管理者
設備研修	・空調や電気設備・シーケンス制御など施設に関する研修	適宜	管理職
管理事例の紹介	・施設や職員の能力向上を目的とした他施設等の優良事例の紹介	適宜	関連職員
通信教育	・資格取得やスキルアップ研修の実施	年1回(4月)	希望者

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

(3)効率的な運営

■その他研修

・社内だけでなく、外部で行われている研修にも積極的に参加し、指定管理、設備や芸術・文化、舞台など社内だけでは得られない知識を得ることでより質の高い人材育成に努めます。

《研修例》・アートマネジメント研修（(社)全国公立文化施設協会）・舞台研修（他施設連携）

・現場責任者を中心に、清掃・設備・警備の各担当を配置し、役割分担を明確化します。

・地元採用を基本とし、緊急時には近隣スタッフを含めた応援体制を構築しています。

・教育面では OJT および年 2 回の技術研修を実施し、設備対応力および接遇力の向上を図ります。

・特に責任者クラスは救急救命講習修了者を配置し、安全対応力を担保します。

共同企業体間のチームワーク醸成の取組

施設に関わるすべての人の協働による施設運営へ

・施設運営を行っていくうえで、当施設を幅広い世代の皆様に愛される施設となるためには、スタッフ自ら施設に愛着を持ち、多様な業務分野を各分野のスタッフが互いに理解し、管理運営を行っていくことが非常に重要となります。

・下記のような具体的な取組を積極的に実践し、「指定管理者としての役割」を果たすために、一体となって業務にあたります。



具体的な取組

【スタッフ間の効果的な情報共有】

情報共有

名称	内容	頻度
朝礼･昼礼	当日の予約状況･利用状況や引継ぎ事項を確認するため朝礼･昼礼を実施し、混乱なく運営ができるよう万全な情報共有を行います。 ※当日の出勤者のみで実施	毎日
スタッフミーティング	受付･運営･舞台･設備･就労支援･レストランを含めたスタッフで、スタッフミーティングを実施し、それぞれのセクションで気になったことや、お客様のご意見等を共有しサービス向上の取組を実施します。議事録を回覧することにより、当日不在のスタッフも含め全スタッフに周知します。	原則月1回
業務日誌の作成	日々の出来事は日誌に記録し、重要な案件は朝礼時に共有します。	毎日
引継ぎノートの作成	その日起きた細かい出来事をスムーズに引き継ぐため、引継ぎノートへの記録を行います。	



スタッフミーティング



業務日誌（イメージ）

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

(3)効率的な運営

【各スタッフの積極的な協働】

・受付・運営・事業・舞台・維持管理等、様々な業務を行っていく中で、利用者に対してホスピタリティあふれるサービスを提供するには、各スタッフの業務把握、連携が非常に重要であると考えます。担当を超えて他業務にも協働することで、施設全体の一体感を生み出し、業務の高効率を実現します。

他業務対応

名称	内容
利用者対応	窓口･電話対応、案内等、担当者だけでなく、補佐として参加。
施設巡回点検	各居室の点検、目に見える清掃、消毒作業等、全スタッフが対応。

【繁忙時の本社員等による柔軟な応援体制】

・業務の繁忙時や自主事業・F プレイスフェスタ等の運営時には、指定管理部門を中心とした本社社員や他施設スタッフが柔軟に応援に駆け付けます。

【充実した評価体制】

・代表企業相鉄企業本社や第三者による評価と各施設間での評価を実施することで、万全なクロスチェックに努めます。また、事業報告や業務内での気付いた点、改善策等を気軽に意見交換できる環境を整え、施設間での連携や、さらなるサービス向上に繋げます。

評価内容

名称	内容	頻度
館長会議	代表企業各管理施設の館長と本社スタッフによる稼働率などの情報共有･改善	2ヶ月に1回
自主事業会議	代表企業各管理施設の自主事業担当と本社スタッフによる自主事業報告、課題の共有･改善	2ヶ月に1回
代表企業によるインスペクション	相鉄企業本社スタッフによる運営管理チェックシートに基づいた施設状況についてのチェック	年1回
“Super Visor”モニタリング	施設管理のスペシャリスト“Super Visor”による維持管理業務についてのモニタリング	定期
防災アドバイザーによる点検	防災アドバイザーによる施設内の防災に関する危険箇所等のチェック･改善	定期

▮ 利用者のキャリア形成および就労支援体制

・就労支援スタッフ　4 名（常勤社員、業務委託キャリアコンサルタント含む）で支援します。

・個別就労相談、講座の企画・運営を担い、利用者のキャリア形成および就労支援を専門的に実施します。

・貴市関係部署、障がい者就労支援施設、ハローワーク等の関係機関と連携し、利用者の状況に応じた適切な支援および就労機会の創出につなげます。

・キャリアコンサルタント有資格者を配置し、高いコミュニケーション能力と丁寧な対応により、利用者一人ひとりに寄り添った支援を行います。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

(3)効率的な運営

(2)収支予算書

収支予算書

・本事業は仕様書に基づく就労支援等の事業であり、必要な経費は指定管理料により賄うものとする。
そのため、参加者からの参加費の徴収は行わない。

・なお、テキスト代等の実費が発生する場合はあるが、これらは指定管理者の収入とはならない。

事業収支予算表　集計表

金額単位：千円

収入							備考
科目	内訳	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	
指定管理料	指定管理料	106,995	108,726	111,575	115,692	117,743	
	内訳　相鉄企業	46,263	47,714	49,041	50,721	52,315	
	内訳　工匠	46,284	46,286	47,518	49,654	49,791	
	内訳　キャリアドライブ	14,448	14,726	15,016	15,317	15,637	
利用料金収入	労働会館ホール利用料金	3,307	3,328	3,398	3,419	3,468	利用率毎年0.5%上昇
	ホールと併せて使用する会議室利用料金	213	214	218	219	222	
	ホール付属設備利用料金	1,369	1,377	1,405	1,413	1,433	
	駐車場利用料金	4,121	4,121	4,121	4,121	4,121	
雑収入	コピー機収入	90	90	90	90	90	2025年度実績による
	自販機手数料収入	827	827	827	827	827	2025年度実績による
事業収入	勤労福祉事業収入	0	0	0	0	0	
	その他事業収入	503	503	503	503	503	2025年度実績による
レストラン運営業務収入	レストラン運営業務収入	71,919	71,919	71,919	71,919	71,919	
収入合計		189,344	191,105	194,056	198,203	200,326	税込

支出						備考
科目	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	
人件費	64,508	67,089	69,772	72,562	75,472	職員8人,パート16人 (※レストラン人件費は含まない)
管理費	1,162	1,162	1,162	1,162	1,162	修繕費
	20,371	19,391	19,391	20,371	19,391	施設維持管理費
事務費	13,025	13,025	13,025	13,025	13,025	備消品費･通信運搬費･管理経費他
自主事業費	7,684	7,684	7,684	7,684	7,684	労働･支援講座、地域連携
レストラン運営業務支出	71,919	71,919	71,919	71,919	71,919	人件費及び消費税等を含む
小計	178,669	180,270	182,953	186,723	188,653	
消費税及び地方消費税相当額	10,675	10,835	11,103	11,480	11,673	レストラン支出の消費税は含まない
支出合計	189,344	191,105	194,056	198,203	200,326	税込

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

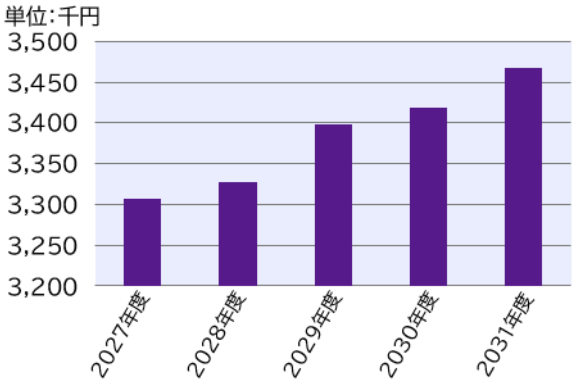
(1)人員体制

(2)収支予算書

(3)効率的な運営

収入について

・２０２７年度は藤沢市民会館の閉館に伴うホールの稼働率上昇を見込んでいます。
・体験型自主事業やワークショップなどの活動によって、施設を知っていただき、利用者の獲得を目指すことによって、稼働率は毎年０．５%の稼働率アップを目標とします。利用料収入に換算すると５年間で５%アップともなります。
・ホール稼働率（年間平均）
２０２７年度：４０．５%（＝４２３コマ/年）、２０２８年度：４１．０%（＝４２６コマ/年）
２０２９年度：４１．５%（＝４３５コマ/年）、２０３０年度：４２．０%（＝４３８コマ/年）
２０３１年度：４２．５%（＝４４４コマ/年）
（参考）２０２５年度実績：４０．１%
・ホール利用料金収入（想定）
２０２７年度：３，３０７千円
２０２８年度：３，３２８千円
２０２９年度：３，３９８千円
２０３０年度：３，４１９千円
２０３１年度：３，４６８千円
（参考）２０２５年度実績：３，１８２千円
・附帯設備利用料金（想定）
２０２７年度：１，３６９千円
２０２８年度：１，３７７千円
２０２９年度：１，４０５千円
２０３０年度：１，４１３千円
２０３１年度：１，４３３千円
（参考）２０２５年度実績：１，３１８千円



ホール利用料金

自主事業(多世代交流事業)料金収入

・体験型自主事業やワークショップの参加率をあげることで、参加料金による収入を増加させていきます。直接的な利用料金収入の向上策ではありませんが、施設の認知や来場の「きっかけ」になる点で相応の効果もあると考えます。

勤労福祉事業収入

・仕様書による就労支援等の事業となるため、指定管理料で賄うこととなり、参加者から参加費用の徴収はありません。（テキスト代などの発生はありますが、指定管理者の売上となるものはありません。）

レストラン運営業務収入

・２０２７年度は、２０２５年度やそれ以前の実績を踏まえ、目標額を設定しています。
・２０２５年度の１，７５２人/月、客単価３，２５７円/人の実績により、７１，９１９千円/年を見込みます。
（参考）２０２５年度レストラン運営業務収入：６８，４９５千円
・指定管理料を充当しないため、収支予算書は、分かり易くするため、５年間同額を記載しました。しかし、レストランを活用したイベントを通して、収入のアップを目指して行きます。
（詳細は事業計画書⑨Ⅲ提案１(3)レストラン事業に関する提案をご覧ください）

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

(3)効率的な運営

(3)効率的な運営

適正な管理運営経費

社内生成 AI の活用(DX による効率化)

・代表企業の相鉄企業では、同社の企業グループ全体で運用している生成 AI システム、専用チャットボットを本施設で活用する予定です。同システムは当企業グループ向けにカスタマイズされており、入力情報は学習データに一切利用されない仕様になっています。このため、機密性が高く、機密性の高い情報も安全に入力でき、ChatGPT の最新版と同レベルのやりとりや回答が可能です。
※活用例(音声データから議事録作成、画像作成、外国語への翻訳、アンケート結果の分析等)
・毎月、社内の独自広報媒体、配信にて AI ツールの活用法や注意点等について分かりやすく紹介しており、本施設のスタッフも当媒体の配信、説明資料を活用して教育を行う予定です。
・2023 年に策定した「相鉄グループ AI サービス利用に関するガイドライン」は 2026 年 6 月に改訂しており、昨今の技術進歩にも対応し安全かつ適切に利用するための対策も講じております。

マルチジョブを基本とした効率的な体制

・施設長および副施設長、運営・受付スタッフによって、受付・運営業務を行いますが、舞台・設備・就労支援スタッフも自分の担当業務を遂行するだけでなく、受付・運営業務をサポートすることで、配置人数以上の品質の高いサービスを提供します。
・当施設の就労支援スタッフは共同企業体に属する他企業の担当業務に関する知識を習得し、「就労支援コーナー」に関する業務以外の館内業務に関して他企業と連携をして、利用者に対してきめ細やかな対応が出来るようにします。
・国家資格キャリアコンサルタント資格保持者とすることで、藤沢市民一人ひとりに対して個別就労相談を行い、さらに個別相談対応以外のコーナーの窓口にて対人支援者としてきめ細かい対応を出来るようにします。



マルチジョブによるサービス向上

効果的な維持管理

【地元の構成企業である工匠によるスピーディーでコストを抑えた維持管理】

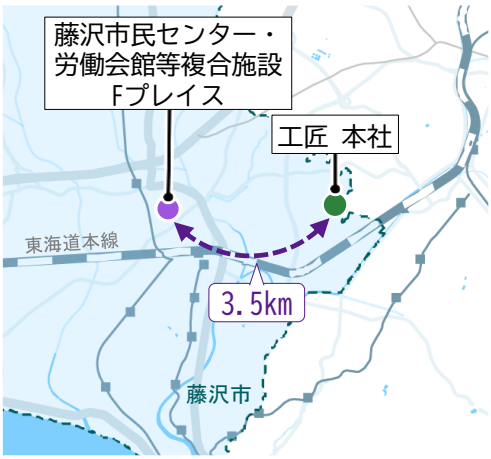
・構成企業の工匠は、藤沢市を熟知した地元ビルメンテナンス会社として迅速な対応力、地元企業の積極的活用、藤沢市内多数の維持管理実績を有しております。
・本社は、本施設から 3.5km の位置にあり、また、多数の市内協力企業と本施設の維持管理についても協力関係にあるため、スピーディーで無駄のない維持管理を行います。

【安全・安心の確保】

・設備の重要性を考慮し、重大な事故につながる可能性がある昇降機、シャッターなどの設備については、メーカーとメンテナンス契約を行います。

【コストの適正化】

・代表企業の相鉄企業は、多数の保守契約物件を有していることから、スケールメリットを生かした委託先との契約で経費縮減が可能です。



Ｆプレイスと工匠本社の位置関係

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

(3)効率的な運営

▌設備スタッフによる経費縮減

・本施設には、常駐で設備スタッフを配置しているため、きめ細やかな機器の日常運転管理により、水道光熱費の縮減を図ります。
・また、設備故障など速やかな一次対応をとることで、被害の拡大を抑え、修繕費などの縮減に寄与します。簡易修繕などは、内製化によりコスト削減を可能とします。
・適切な維持管理による予防保全、計画的な修繕への取組でコストの適正化を図ります。
・修繕などの発注に際しては、競争の原理による複数社への見積依頼をし、コストの適正化も行います。
・効率的な運営を実現するため、業務の標準化と予防保全の徹底により無駄なコストと手戻りを削減する。日常巡回・点検結果・修繕履歴を一元管理し、対応の重複や漏れを防止します。
・AI清掃ロボットの活用により清掃品質を維持しつつ省人化を図り、人員を重点業務へ再配置します。
・藤沢市内業者 30 社以上との連携により、迅速かつ適正価格での修繕対応を実現することで、品質とコストの両立を図ります。

修繕実績一覧

実施年月	修繕内容
2022 年 12 月	3 階ビニールクロス貼替工事業務委託
2023 年 2 月	1 階駐車場泡消火器ヘッド交換業務委託
2023 年 2 月	1 階駐車場ケーブルラック修繕工事業務委託
2023 年 6 月	1 階駐輪場前アナログ式煙感知器交換業務委託
2023 年 6 月	2 階指定管理者室アナログ式煙感知器交換業務委託
2024 年 1 月	6 階厨房排気ファン消耗品部品取替工事業務委託
2024 年 5 月	3 階 307･308 会議室ブラインド交換業務委託
2024 年 6 月	エレベーターバッテリー交換業務委託
2024 年 7 月	ガス漏れ検知器交換業務委託
2024 年 8 月	非常用発電装置修繕作業（冷却水ヒーター、ラジエーター検水窓交換）
2024 年 11 月	ピアノ庫空調室外機修繕作業業務委託
2025 年 4 月	2 階ホール調音室アナログ式煙感知器交換作業
2025 年 6 月	6 階 3+3 厨房コンセント取替工事業務委託
2025 年 6 月	放射試験分消火器更新
2026 年 2 月	2 階液晶モニター交換業務委託

▌就労支援講座における保育サービス等の直営化

・キャリアドライブが実施する就労支援講座（女性向けセミナー・初級パソコン講座）では、事前予約制にて保育サービスを利用することが可能です。
・キャリアドライブの内部で幅広い事業を展開しており、保育士を数名確保できています。そのため、本施設においても水平展開を行い、予約制にて柔軟に対応できる体制が整っています。

▌就労支援体制

・就労支援スタッフは共同企業体に属する他企業の担当業務に関する知識を習得し、「就労支援コーナー」に関する業務以外の館内業務に関して他企業と連携をして、利用者に対してきめ細やかな対応が出来るようにします。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

4 人員体制・経費

(1)人員体制

(2)収支予算書

(3)効率的な運営

■ 就労支援事業と 3+3CAFE の連携

・「相談」「学び」「交流」「居場所づくり」を一体化した施設運営を行います。

・就労相談やセミナーは、利用者にとって心理的ハードルが高くなりやすい側面があるため、3+3CAFE の開放的でリラックスできる空間を活用することで、初めての方でも参加しやすい環境づくりを行います。

・就労支援セミナーやキャリア形成支援講座、コミュニケーションワークショップ等をカフェスペースで開催することで、「相談室へ行く」という形式的な利用だけではなく、自然な形で就労支援につながる導線を構築します。特に、働くことへの不安や孤立感を抱える方に対しては、カフェ空間を活用した交流イベントや少人数ワークショップを実施することで、利用者同士のつながりや地域との接点を生み出し、孤立防止や継続利用につなげます。

・仕事帰りやセミナー参加前後にも立ち寄りやすい環境を整えることで、施設全体の回遊性向上及び利用促進を図ります。

・子育て世代、シニア世代、学生など多世代が自然に交流できるイベントを共同企業体各社と連携して実施し、F プレイス全体のにぎわい創出と地域コミュニティ形成に寄与します。

・厚生労働省が推進する「仕事と治療の両立支援」や、経済産業省が推進する「健康経営」、リスキリング、女性活躍推進、SDGs 等、市民ニーズの高いテーマについても、カフェスペースを活用したミニセミナーや交流イベントとして展開し、市民が気軽に学べる機会を創出します。

・このように、3+3CAFE を単なる飲食スペースとしてではなく、「人と人」「相談と地域」「学びと交流」をつなぐ場として活用することで、複合施設ならではの相乗効果を生み出します。

■ ニーズや時代に合わせた効率的なレストラン運営

【予約システム、宅配サービス等のシステム活用】

・予約システムに「ぐるなび」を入れることにより、事前に売上想定、それに対した食材の発注や人員配置を考え臨機応変に調整しています。

・また、宅配サービス「Uber eats」の活用により、たとえ店舗の席数が満席だったとしても売り上げの立つツールを導入しています。



お弁当

【お弁当販売時の効率化】

・当レストランでは、お弁当の販売も行います。お弁当の販売に関しては、「予約受付」による販売により、売れ残りや準備の無駄を省き、効率よく行っていきます。

・2 階の指定管理者事務所でも広報や「予約受付」を行い、連携を図ります。



3+3CAFE

【ビュッフェ形式による効率化】

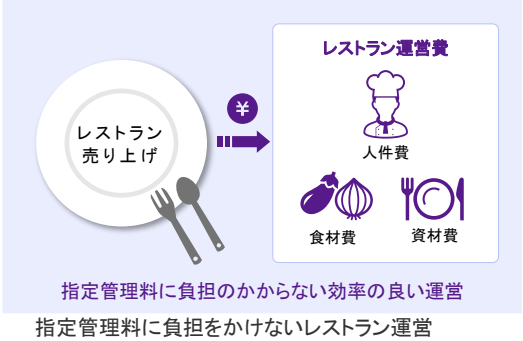
・懇親会や宴会等も予約により積極的に受け付けます。宴会などは立食のビュッフェ形式により提供することで、人件費を抑えた効率的なサービスを提供します。

【レストラン運営費】

・レストランの運営費は、基本的にレストラン収入から経費（主に人件費、食材費、資材費）を支出します。指定管理料に負担のかからないような効率の良い運営を行います。

【水光熱費の節約】

・貴市に負担していただいていることを意識しながら、節約を意識し、効率的な運営を行います。



指定管理料に負担をかけないレストラン運営

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

5 市の施策への理解

(1)情報の管理体制

(2)環境配慮・人権擁護・障がい者配慮・暴力団排除

(1)情報の管理体制

個人情報保護への取組

取組方針

・本施設を管理運営する指定管理者として、代表企業である相鉄企業の施設長が責任者となり、「個人情報保護に関する法律」及び「藤沢市個人情報の保護に関する条例」を遵守し、個人情報を適正に取り扱います。
・個人情報を取得する際には、適正な手段で取得し、情報主体に対し取得する目的を明確にします。
・利用者から収集する個人情報は必要最低限とし、守秘義務に関してもスタッフへの周知・徹底を実施します。
・情報主体から同意を得た範囲を超えての利用、第三者への提供はしません。
・貴市が定める条例、当団体各社が定める個人情報保護規定に則り、個人情報を適正に取り扱います。

共同企業体全体で統一された管理

・代表企業の相鉄企業はプライバシーマークの認証を取得しています。
・代表企業である相鉄企業の施設長が中心となり、本施設の全スタッフを対象とした教育、研修を行い、共同企業体全体で統一された管理を行っていきます。



Pマーク（相鉄企業）

個人情報の取り扱いについて

項目	内容
個人情報保護規定の周知	本施設の全職員・スタッフに個人情報保護規定を徹底周知し、規定に沿って管理にあたります。
個人情報の取得、利用及び提供	個人情報の取得は必要最小限にとどめ、利用目的以外のために個人情報を利用しません。取得した個人情報は法令の定める場合を除き、本人の同意なく第三者への提供は行いません。
情報の持ち出し	本施設保有の個人情報については、施設外への持ち出しを禁止します。
情報の保管	個人情報が記載された書類は、ファイルの背面に丸シールを貼って、常時施錠できる書庫に保管しています。
外部委託について	個人情報を取扱う業務については、外部委託は行っていません。
情報の廃棄	個人情報が記録されている書類等を廃棄する場合は、シュレッダーまたは溶解による処理を徹底しています。
個人情報保護法の教育	個人情報保護法に関する教育を年1回以上行います。
セキュリティ	すべてのパソコンでセキュリティワイヤーを設置し、パスワード管理を実施。ウイルス対策ソフトも導入します。

個人情報保護教育

・現地では施設長主導の元、全スタッフに毎月個人情報保護法理解度テストを実施しています。
・毎月実施することによって、スタッフ全員が個人情報保護に対して高い意識を持つようになります。また、個人情報保護に関する研修を年間スケジュールで計画し、遂行していきます。
・今後も個人情報保護に対し適切な知識を持ち、運営に携わる体制を構築します。

個人情報保護研修スケジュール

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	理解度テスト												○
2	個人情報取扱研修												○
3	藤沢市人権研修			○									
4	社内研修（CSR 研修）	○											
5	朝礼、会議での注意喚起	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	サービス向上 JV 会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

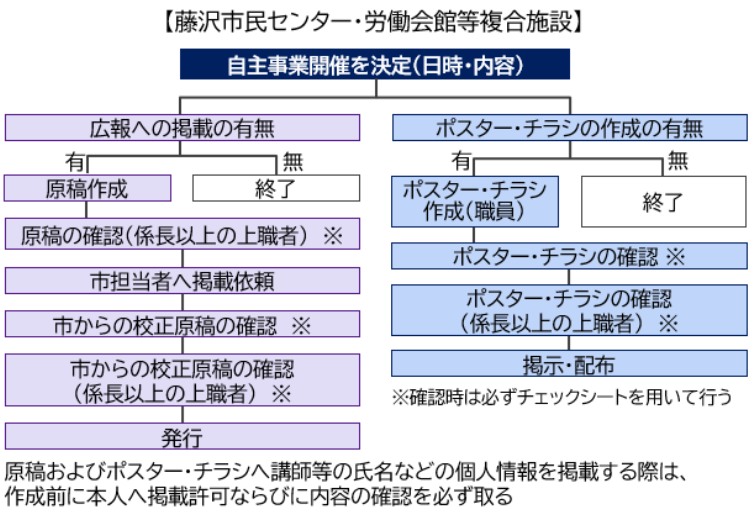
5 市の施策への理解

(1)情報の管理体制

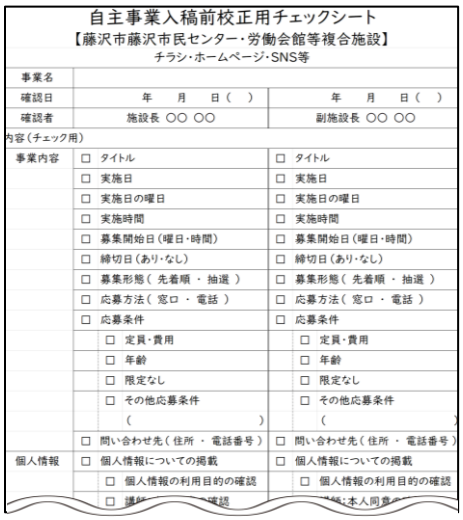
(2)環境配慮・人権擁護・障がい者配慮・暴力団排除

▌徹底した漏洩防止対策

・当団体は、情報漏洩防止対策として、業務フローチャート、入稿前確認チェックシートの各項目に沿って、個人情報を適正に取り扱います。



自主事業広報業務フローチャート


自主事業入稿前校正用チェックシート
【藤沢市藤沢市民センター・労働会館等複合施設】
チラシ・ホームページ・SNS等

事業名		
確認日	年　月　日(　)	年　月　日(　)
確認者	施設長 〇〇 〇〇	副施設長 〇〇 〇〇
内容(チェック用)		
事業内容	□ タイトル	□ タイトル
	□ 実施日	□ 実施日
	□ 実施日の曜日	□ 実施日の曜日
	□ 実施時間	□ 実施時間
	□ 募集開始日(曜日・時間)	□ 募集開始日(曜日・時間)
	□ 締切日(あり・なし)	□ 締切日(あり・なし)
	□ 募集形態(先着順 ・ 抽選)	□ 募集形態(先着順 ・ 抽選)
	□ 応募方法(窓口 ・ 電話)	□ 応募方法(窓口 ・ 電話)
	□ 応募条件	□ 応募条件
	□ 定員・費用	□ 定員・費用
	□ 年齢	□ 年齢
	□ 限定なし	□ 限定なし
	□ その他応募条件	□ その他応募条件
	( )	( )
	□ 問い合わせ先(住所 ・ 電話番号)	□ 問い合わせ先(住所 ・ 電話番号)
個人情報	□ 個人情報についての掲載	□ 個人情報についての掲載
	□ 個人情報の利用目的の確認	□ 個人情報の利用目的の確認

広報 入稿前確認チェックシート

【業務フローに沿った情報管理】

・自主事業チラシ入稿は業務フローに沿って、施設長・副施設長ダブルチェックのうえ、個人情報の取り扱いに留意します。

【マニュアルの整備】

・全スタッフ誰にでもわかりやすいようマニュアルを作成しており、定期的に見直し、分かりやすいマニュアルを整備します。

・代表企業では、指定管理施設における公式 SNS アカウントの運用について、詳細なマニュアルを整備しています。**運営主体・方針の明確化、法令遵守、個人情報保護に配慮した投稿ルール、炎上時の対応フローなど、公共施設としての責任ある情報発信を実現する体制を構築**しています。また、投稿内容や権限に応じた承認フローを定め、SNS リスクマネジメント検定の取得者による質の高い運用を推進しています。これにより、**利用者への迅速で正確な情報提供と、施設の信頼性向上を両立**させます。

【お客様情報の相互確認】

・利用許可書発行時は、利用者情報をお客様と相互確認したうえで渡します。

【常時施錠の書庫でのファイル管理】

・個人情報が記載されているファイルは、ファイルの背面に丸シールを貼って、常時施錠できる書庫に保管します。

【重要書類の破棄方法】

・個人情報が記載されている書類は、シュレッダーまたは溶解による処理を徹底します。

【パソコンのセキュリティ対策】

・全てのパソコンに盗難防止のためのセキュリティワイヤーを設置します。
・全てのパソコンはログインパスワード管理を行い、定期的な変更を行います。
・ウイルス対策ソフトや OS 及び各種ソフトウエアのアップデートを定期的に実施します。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

5 市の施策への理解

(1)情報の管理体制

(2)環境配慮・人権擁護・障がい者配慮・暴力団排除

情報公開について

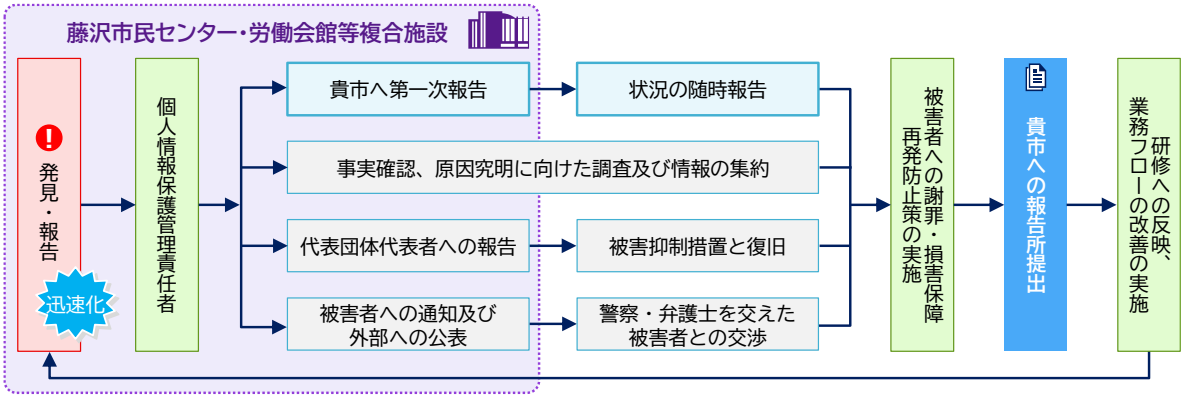
・当団体は、公の施設の管理者として市民から情報公開の要請があれば、積極的に開示することは当然の義務だと考えており、貴市が定める「藤沢市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に則り、情報公開について適正に取り扱います。
・原則として、請求が行われた場合は情報を公開しますが、法令や条例などの規定により開示することが適切でない情報を公開したり、個人の権利利益の侵害や第三者に該当する情報などをみだりに公開したりすることのないよう、情報を適切に取り扱います。

就労支援の個人情報保護の取組

・就労支援事業やセミナー・講座運営を通じて取得する個人情報について、適切な管理体制の整備を徹底しています。
・受講申込情報、相談記録、アンケート等のデータは、アクセス権限を設定したクラウドシステム及び管理台帳により一元管理し、担当者以外が閲覧できない運用を行います。
・また、紙媒体についても施錠可能な保管場所で管理し、不要となった書類は適切に廃棄します。
・相談業務においては、利用者が安心して相談できる環境づくりを重視し、個人情報の収集は必要最小限とするとともに、行政及び関係機関との情報共有についても本人同意を前提に適切に対応します。

個人情報保護に関する事故発生時の対応

・事故発生時は、緊急事態を発見した職員等は、速やかに個人情報保護管理責任者に報告いたします。個人情報保護管理責任者は、貴市ご担当者様および代表企業代表者に速やかに報告した後、代表者を委員長とする事故対策委員会を設置し、組織的な対応を開始します。まずは、事実確認（発生日時、場所、漏洩範囲等）を行います。
・事故対策委員会は、アクセスログ調査、監視カメラ映像の確認、関係者への事情聴取等を実施し、事故の全容を把握いたします。同時に、漏えい情報の捜索・回収、システムの一時停止、業務プロセスの一時停止等の緊急措置を実施し、**被害を最小限に抑え、施設利用者様の安全確保を最優先**とします。
・電話、メール、郵送、またはウェブサイト上の公表により、速やかに本人および関係者に通知いたします。通知内容には、事故の事実関係と発生原因、本人への影響、二次被害防止のための注意点、問い合わせ窓口の情報を含めます。貴市担当者様と連携し、施設利用者への適切な情報提供を行います。
・責任者の指示のもと、是正処置を実施いたします。技術的対策として、システムのセキュリティ強化、監視体制の強化を行います。組織的対策として、業務フローの見直し、定期的な点検・監査を実施します。人的対策として、全職員への教育、事故事例の共有を行います。物理的対策として、書類・媒体の保管方法改善、入退室管理の強化を行います。



個人情報漏洩時の対応フロー

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

5 市の施策への理解

(1)情報の管理体制

(2)環境配慮・人権擁護・障がい者配慮・暴力団排除

(2)環境配慮・人権擁護・障がい者配慮・暴力団排除

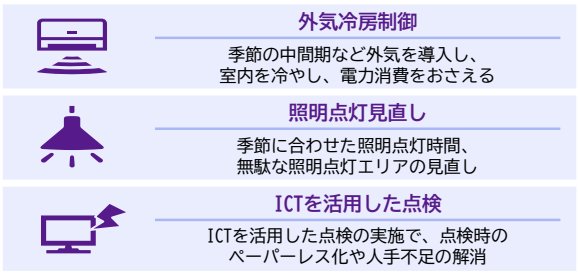
環境配慮

環境への配慮に関する考え方

・当団体は、環境取組活動を積極的に実施し、2 社は ISO14001 を取得し省エネ、省コスト施策を推進してきました。これらの経験と実績を活かし、環境に配慮した運営を遂行します。
・2005 年に ISO14001 の PDCA マネジメントサイクルによる業務改善を推進し、”顧客満足から顧客感動へ”を目標に、ライフサイクルコストの削減に努め、社内外における環境への配慮を重視した取組を継続して行います。

ライフサイクルコストへの低減・環境への配慮

・代表企業では、施設工事や省エネ提案に特化した専門部署を設けており、エネルギー使用状況等の簡易診断（ウォークスルー）による熱源機器の最適化（設定温度、運転時間等）や環境へも配慮した照明器具 LED 化、節水装置の設置など他施設において多くの成功実績があります。
・専門部署バックアップのもと、他施設での取組を水平展開します。



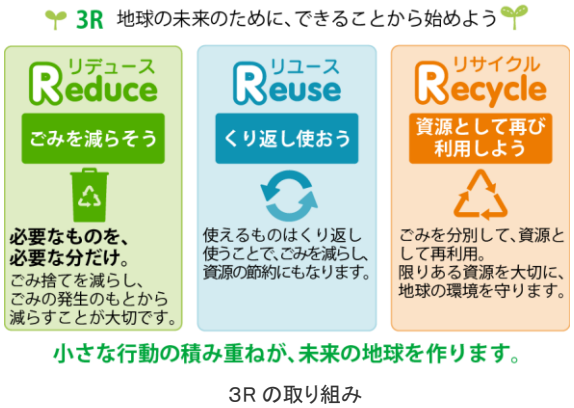
環境配慮への取組

環境への配慮に関する具体的な取組

・環境負荷の低減を考慮した、紙類・印刷物・文房具・家電製品・照明等については、環境負荷の少ない物品等の購入を推進します。さらに購入に際しては適正量を購入し、無駄を省くとともに廃棄物の減量に繋げます。
・資料や文書などの作成にあたっては「両面印刷」「縮小コピー」「集約印刷」を推進し、用紙類の使用量を抑制します。また「封筒等の再利用」「トナーカートリッジの回収」「業務用洗剤等の使用量の低減」「照明の間引き」など、リサイクルと省資源化に努めます。
・ゴミの分別を徹底して、利用者に対してゴミのお持ち帰りをお願いしています。また、利用者への省エネの告知や啓発活動を行っています。
・構成企業である工匠では、**健康経営優良法人 2026 の中小規模法人部門に認定**されており、受動喫煙防止など健康環境の配慮を行っています。

有限会社工匠の 3R（スリーアール）

・構成企業である工匠では、3R（スリーアール：Reduse/Reuse/Recycle）を環境配慮の活動指針として、具体的な取組を進めています。
・リデュース（Reduce）としては、作業車を新車とせず、レンタルまたはリースしています。
・リユース（Reuse）については、薬剤容器や清掃用タオルなどを捨てずに再利用しています。
・リサイクル（Recycle）では、ゴミの分別を徹底してゴミの減量とリサイクルに貢献するとともに、本事業では、新たにリサイクル率 99%以上のゴミ袋を採用しています。



3R の取り組み

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

5 市の施策への理解

(1)情報の管理体制

(2)環境配慮・人権擁護・障がい者配慮・暴力団排除

人権擁護

人権を大切にし、「人権文化」を育むまちづくりへの貢献

・近年、地域や職場・学校・家庭での「繋がり」が薄れ、社会的に孤立し生活困難に陥ったり、震災などの自然災害から直接的・間接的な影響によって生活が困窮するなど、社会的排除のリスクが高まっています。

・こうした排除のリスクを抱えた方々を社会的に包摂し、各自が有するアイデンティティを認めることでリスクの連鎖を断ち切り、文化芸術を用いて誰も排除しない地域コミュニティを構築する使命が私たちにはあると考えています。

・本施設は、公共施設であり、すべての人が「公正・公平・平等」に利用できるよう、管理運営を行っていかなくてはなりません。**藤沢市人権政策推進指針**に掲げている基本理念「人権を大切にし、「人権文化」を育むまちづくり」に貢献できるよう適切に対応します。

人権擁護における取組

・年１回、施設の全スタッフ対象に人権研修ならびにコンプライアンス研修、サステナビリティ研修、ノーマライゼーション研修を実施し、人権感覚を磨きます。

・すべての方が誇りを持って自立した生活を送ることが出来るよう、積極的に障がい者雇用の促進を行います。代表企業では現在 42 名を雇用し、指定管理施設の現場においても 9 名が勤務しています。

・社員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の取り組みとして定時退社日「カエルデー」の設置、育児休暇及び産休の取得率 100%を維持する等、社員にとって快適な職場環境づくりに努めます。

男女共同参画への取組

・ふじさわジェンダー平等プラン 2030～藤沢市男女共同参画計画～に記載されている次世代に向け、多様な生き方や考え方を認め合うまちづくり、誰もが生きやすい社会の実現をめざして、**「共に生き、共に創ろう、未来につなぐ、ジェンダー平等のまち“ふじさわ”」の実現**に努めます。

・代表企業の管理施設においては、5 施設で女性が責任者クラスを務めています。女性の受付スタッフが企画・運営を行うイベントも開催しています。



女性スタッフによるイベントの様子

障がい者配慮

基本的な考え方

・「障がいを理由とする差別の解消推進に関する法律」の障がいを理由とする差別の解消を推進することにより、すべての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指すことを目的や貴市における「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領第４条及び第５条の趣旨」を踏まえ、藤沢市職員サポートブックの考え方であるとおり「障がいに応じた適切な支援ができ、誰からも信頼される職員を目指し、「ありがとう」と言われる接遇に取り組んでいきます。

具体的な取組

【サービス介助士の継続配置】

・おもてなしの心と正しい介助技術を学んだサービス介助士を継続して配置します。高齢者や障がい者などすべての人をやさしくサポートし、ホスピタリティサービスの向上に努めます。



サービス介助士の配置

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

5 市の施策への理解

(1)情報の管理体制

(2)環境配慮・人権擁護・障がい者配慮・暴力団排除

【ユニバーサルデザインによるすべての人にやさしい施設の実現】

・お身体が不自由な方もご利用しやすいユニバーサルデザインの自動販売機や案内を導入・設置し、すべての人にやさしい施設を実現します。



ユニバーサルデザイン自動販売機イメージ

【手話教室の開催】

・手話について学び、実際に触れ合う機会を増やすことで、単に技術としての手話を習得するだけでなく、視覚障害をはじめとする様々な障害や特性を持つ人々への深い理解と共感を育む貴重な機会を創出します。

講師(例)：神奈川聴覚障害者連盟

※参加費無料　他施設での実績あり



手話教室

暴力団排除

・私たちは「神奈川県暴力団排除条例」「藤沢市暴力団排除条例」に基づき反社会勢力との一切の関係性を遮断します。

・スタッフ・施設利用者・行政など、私たちが業務を通じて関わる全ての人の安全で健全な活動を確保します。

・藤沢暴力追放推進協議会会員、藤沢警察署友の会役員を担っており、暴力団排除の体制作りの官民連携に寄与しています。

❶ 組織として対応します

反社会的勢力による不当要求に対しては、施設の責任者や、該当する部署だけに対応を任せるのではなく、共同事業体各社の組織全体で対応します。

❷ 外部組織期間と連携して対応します

反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察・暴力追放推進センター等の外部機関と意思疎通を行い、緊密な連携関係を構築します。

❸ 取引を含む関係を遮断します

反社会的勢力に対しては、取引関係を含めて、排除の姿勢をもって対応し、反社会的勢力による不当要求を拒絶します。

❹ 有事においては法的対応を図ります

反社会的勢力の不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対応を行うこととし、あらゆる民事上の法的対抗手段を講じるとともに、積極的に被害届けを出すなど刑事事件化も躊躇せず対応します。

❺ 一切の裏取引や資金提供を禁止します

反社会的勢力の不当要求がいかなる事項を理由とするものであっても一切の裏取引や資金提供を行ないません。

❻ 反社会的勢力講習に参加

神奈川県警が開催する「反社会的勢力講習（暴力団による不当な行為の防止等に関する法律第 14 条第 2 項に規定する講習)」に責任者が参加します。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

6 特記事項

(1)地域住民及び地域団体との協働・連携

(2)市内経済の活性化

(3)障がい者雇用の取組

(1)地域住民及び地域団体との協働・連携

基本的な考え方

大企業・団体の融合、世代間交流、貴市の「輪」

・本施設は、様々な施設の複合化により、あらゆる世代の方々が一つの施設に集い、今まではなかった交流を新たに生じさせ、多種多様な活動が行われることで、新しい地域の交流拠点になることが求められてきました。
・本施設のような複合施設が最も果たすべき重要な役割は、将来的に持続可能な事業とコミュニティを築くことです。一過性のものではなく、これから先世代交代をしても続いていくことこそ、地域の力を結びつける所以と考えています。
・施設運営というツールを通して、様々なジャンルの精通者と地域市民を結びつけ、なるべく主体的に活動できるように導いていくことが私たちの役割です。
・地域の力が強固になることで、その地域の活動は盛んになり、そこへ参加する人々も増え、魅力的なまちづくりへと繋がります。私たちが補助をするのは最初だけで、次第に地域市民が自らの力を発揮して目標達成に辿り着けるよう、経験の機会を提供していきます。





施設の様子

具体的な協働・連携について

利用者会議・運営協議会の応用活用

・ご意見・ニーズの抽出に留まらず、地域市民と共に施設運営について一緒に考えていくため、引き続き「利用者会議」「運営協議会」を開催します。
・さらに建設的な機会にするため、これまでの議論で蓄積したデータをまとめて振り返りを行い、参加者以外へも公開します。

利用団体やサークルの広報活動の支援

・地域の学校・福祉支援施設・企業等に関わる方々の作品や成果物の展示、地域産品や地域独自の取組を発信する「地域力発信コーナー」を新設し、地域力向上に寄与します。なお、公益的に物販等が望まれる場合には、行政と目的外使用の可否を相談します。

近隣施設および地域住民・団体との連携

・慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスや湘南工科大学などの大学へ働きかけを行い、インターンシップの受け入れや事業の協同などの面で連携がとれるよう、アプローチをしていきます。
・行政と事前相談のうえ、湘南藤沢フィルムコミッションのロケ物件登録や藤沢市観光協会への会員登録などの情報収集ならびに実施に向けての検討をし、地域社会・地域文化・地域経済の振興へ寄与します。
・近隣住民の防災意識啓発のため、消防署と連携した「防災訓練」や「炊き出しイベント」の開催を検討します。
・子どもや高齢者の社会参加の場として、Ｆプレイスフェスタや自主事業などでお手伝いをする「子どもスタッフ」「ボランティアスタッフ」を募ります。
・地域市民や文化活動団体が主催している事業の「共催・後援・協力」をし、地域の文化活動を推進します。

商店会・賀詞交歓会への協力

・引き続き自治会や商店会とも双方向的に連携できるよう、賀詞交歓会へ毎年出席するなど意見交換を積極的に行います。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

6 特記事項

(1)地域住民及び地域団体との協働・連携

(2)市内経済の活性化

(3)障がい者雇用の取組

地域の行事・イベントへの積極的な協力と企画について

F プレイスフェスタの開催

・当団体は、指定管理者が主催する“労働会館まつり”と、藤沢市民センターまつり実行委員会が主催する“藤沢市民センターまつり”、F プレイスに入居する各団体の催し物を併せた地域貢献イベント「F プレイスフェスタ」を、新しい施設として施設の利用促進・継続的な利用者の確保・地域の活性化等を目的に「F プレイスフェスタ」を開催してきました。子どもから高齢者まで幅広い年代の方にご参加いただき、多世代間交流の機会を創出できたと考えています。

▶ 実施概要

- **藤沢市民センター**
  絵画展示、コーラス・チアダンス・合唱などサークルの発表、模擬店
- **労働会館**
  和菓子の作り方教室、光る団子作り、襖の張り替えの実演、模擬店
- **藤沢市民図書室**
  おはなしのへや、企画展示
- **地域生活支援センターおあしす**
  いきいきサポートセンター活動内容の展示
- **藤沢西部地区ボランティアセンターきずな**
  活動内容の展示、肉じゃがの販売
- **生涯学習活動推進室**
  人材バンク講師による展示・体験コーナー
- **藤沢子どもの家**
  段ボール迷路
- **かがやき児童クラブ**
  ダンス・歌・けん玉の舞台発表、豚汁の販売
- **ユースサポート・ユースワークふじさわ**
  パンの販売






- 「F プレイスフェスタ」を引き続き開催するにあたり、単なる利用促進や利用者確保を目的とせず、より「地域の活性化」にウエイトを置いた内容を展開します。
- 以下の 7 項目を基本方針とし、地域と連携して企画運営を進めます。

▶ 基本方針

1. 作品展示、ミニコンサート、各種ワークショップ、バックステージツアー、地産地消マルシェなどのイベントを実施し、「**賑わいを創出**」するとともに、「**親しみやすい施設づくり**」を進めます。
2. 交流機会づくりとして大きな効果が期待できる「**体験型事業**」を、様々なジャンルで展開します。
3. ライフスタイルや産業構造が大きく変わるこれからの社会生活において、変化に柔軟に対応していくために、「**自ら工夫して成果をあげる事業**」を実施します。
4. 子どもや高齢者の運営ボランティアを募集し、「**地域社会への参加**」を促します。
5. すべての人が「**ためらうことなく参加できる**」コンテンツ選択、告知・案内、当日対応を行います。
6. 各施設相互の「**回遊性を高めた仕掛け作り**」を実施します。
7. 誰でも「**気軽に立ち寄れる開けた空間**」を創造し、「**社会的包摂の輪**」を広げます。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

6 特記事項

(1)地域住民及び地域団体との協働・連携

(2)市内経済の活性化

(3)障がい者雇用の取組

地域団体との連携実績

各社の取組実績

・代表企業である相鉄企業は、本施設や貴市内で地域団体との連携を会社全体で行っています。
・構成企業の工匠およびキャリアドライブは、本社所在地が貴市内であることから、地元藤沢市に根付いた地域団体との協働・連携を行っています。
・また、構成企業のエムワイも貴市内で飲食店舗を展開し「地産地消」を通じて貴市内の地域団体と連携を図っています。
・藤沢市内業者 30 社以上との継続取引により、地域内で完結する維持管理体制を構築しています。緊急時においても地元業者との連携により迅速な対応が可能です。

有限会社工匠

・本社所在地が貴市内であることから、創業以来、地元藤沢に根ざした活動を行っており、以下のような地域団体との連携を行っています。
・これらの活動により、本施設の地元商店街、地元町内会・自治会とも強い連携実績があります。
・湘南ユナイテッド BC の代表取締役を当社代表が務めており、当社としてもスポンサー・運営支援を実施しています。これにより地域スポーツ振興および地域コミュニティ形成に貢献しています。



湘南ユナイテッド BC 設の様子

工匠の実績

団体名	所属
藤沢商工会議所　副会頭	法　人
藤沢暴力追放推進協議会　会員	法　人
藤沢警察署友の会　会員	法　人
藤沢警察署協議会　副委員長 （2014 年まで）	代表取締役
藤沢ロータリークラブ	代表取締役
藤沢法人会　理事	法　人
藤沢市市民活動推進委員 （2009 年 4 月～2011 年 3 月まで）	代表取締役
藤沢市民まつり実行委員会　副会長兼事務局長	代表取締役
藤沢宿遊行の盆実行委員会　企画部長	代表取締役
藤沢銀座土曜会主催　あんどん物語　運営協力	代表取締役
公益財団法人藤沢市みらい創造財団　評議員 （2009 年 4 月～2011 年 3 月まで）	代表取締役
社会福祉法人　湘南児童福祉会　理事長	個　人
湘南ユナイテッド BC	代表取締役

事業計画書⑧

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

6 特記事項

(1)地域住民及び地域団体との協働・連携

(2)市内経済の活性化

(3)障がい者雇用の取組

▌株式会社キャリアドライブ

・指定自動車教習所事業を基盤とした生活総合支援企業として、「地域社会への貢献」を理念に掲げ、藤沢市を中心とした地域課題の解決に取り組んでいます。

・少子高齢化や就労環境の変化に伴い、地域における「移動」「就労」「学び」「交流」の課題が複合化する中、当社はこれらを個別に捉えるのではなく、生活全体を支える支援として横断的に事業展開しています。

・具体的には、ふじさわ産業フェスタへの出展を通じた交通安全啓発活動、藤沢商工会議所を通じた地域企業との連携、看護小規模多機能型居宅介護施設における地域交流スペースの設置・運営など、多様な形で地域との接点を創出しています。

・地元自治会への参画や、保護司としての更生支援活動、認定 NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川の理事としての障がい者支援などを通じ、多様な立場の市民に対する支援を実践しています。

・藤沢市委託事業（交通不便地域支援事業）においては、高齢者の移動支援を担うなど、生活基盤の維持に直接的に寄与しています。

・人材育成の領域においては、厚生労働大臣認定 国家資格キャリアコンサルタント養成講座を運営し、地域における就労支援人材の育成を継続的に行っています。

・これらの取組を通じて当社は、「一生現役」を支える支援基盤として、市民のくらし・学び・はたらきを一体的に支える役割を担ってきました。

・本施設においては、これまでに蓄積した地域ネットワークおよび支援ノウハウを活かし、相談業務・講座・就労支援を連動させた循環型の支援モデルを構築することで、利用者一人ひとりに寄り添った継続的支援を実現します。

・今後も地域関係機関との連携をさらに強化し、地域における就労支援および人材育成の中核的存在として、持続可能な地域社会の形成に貢献していきます。









キャリアコンサルタント養成講座

地域団体連携

団　体　名	所　属
藤沢保護区保護司(法務大臣委嘱)	代表取締役
藤沢商工会議所　会員	法　人
藤沢法人会　会員	法　人
認定 NPO 法人スペシャルオリンピックス日本･神奈川　理事	代表取締役
NPO 法人アスリード　スクラムメンバー	代表取締役
社会福祉法人　和みの会　監事	代表取締役

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

6 特記事項

(1)地域住民及び地域団体との協働・連携

(2)市内経済の活性化

(3)障がい者雇用の取組

株式会社エムワイ

・地域の商店街やふじさわ元気バザール、遊行寺ライトアップ、遊行の盆等での連携や商工会議所主催のウインドサーフィンイベントにも参加しました。

・地域の社員食堂としての役割を担う活動や、藤沢駅北口ロータリーでのテイクアウトパーク、白旗神社、藤沢市役所にて弁当販売等に出店し、地域住民の方々とのコミュニケーションを図る場を増やすことにも努めています。



お弁当販売
（白旗神社）



テイクアウトパーク

お弁当





お弁当販売（藤沢市役所内）



ランチプレート

エムワイの地域団体連携

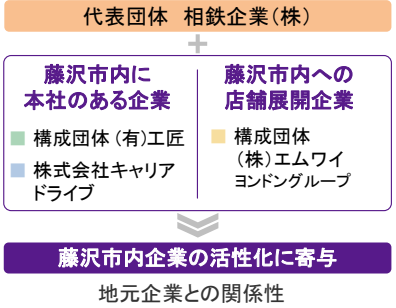
団　体　名	所　属
藤沢商工会議所　青年部　会員	法　人
藤沢青年会議所	法　人
藤沢市観光協会	法　人
ロータリークラブ	法　人
藤沢ロータリークラブ	法　人
藤沢市地産地消推進協議会	法　人

(2)市内経済の活性化

貴市に地元企業による市内経済の活性化への協力

貴市内に深い関係性を持つ会社で構成された企業体

・当団体は、貴市の経済活性化を目的として、構成企業については、貴市内に本社を持つ「工匠」と「キャリアドライブ」の 2 社、貴市内に店舗展開を行っている「エムワイ」1 社、そして豊富な指定管理の実績を持つ代表企業の「相鉄企業」が構成企業の 3 社をサポートする形で構成されています。



地元企業との関係性

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

6 特記事項

(1)地域住民及び地域団体との協働・連携

(2)市内経済の活性化

(3)障がい者雇用の取組

積極的な地元雇用

・2026 年 6 月 30 日現在、当団体の雇用者総数 2,632 名のうち、藤沢市内の物件で働く雇用者は 497 名（18.9%）、藤沢市在住者は 397 名（15.1%）です。また、藤沢市在住者のうち 328 名（12.7%）が藤沢市内の物件で働いています。

・「チームふじさわ」でみますと、雇用者総数 551 名のうち、藤沢市内の物件で働く雇用者は 475 名（86.2%）、藤沢市在住者は 317 名（57.5%）です。また、藤沢市在住者のうち 315 名（99.4%）が藤沢市内の物件で働いています。

・本事業を通じ、当団体は今後も積極的に地元雇用を進めます。

当団体における地元雇用者数(参考)

企業名	藤沢市内の物件で働く雇用者	藤沢市在住者	藤沢市内の物件で働く藤沢市内在住者
有限会社工匠	215 名/248 名中	160 名/248 名中	158 名/215 名中
株式会社キャリアドライブ	179 名/222 名中	76 名/222 名中	76 名/179 名中
株式会社エムワイ	81 名/81 名中	81 名/81 名中	81 名/81 名中
相鉄企業株式会社	22 名/2,081 名中	80 名/2,081 名中	13 名/22 名中

ふるさと納税の活用

・レストラン事業を行っている「エムワイ」は、市内にもつ全店舗の総力をあげてふるさと納税に出品しています。ふるさと納税で商品を購入いただくことで貴市にも還元ができる仕組みを整えております。

貴市内企業の活用について

【有限会社工匠】

・維持管理業務において藤沢市内業者を優先的に活用し、年間を通じた安定的な発注を行っています。これにより地域経済の循環に寄与するとともに、地元企業との関係強化による調達安定性を確保しています。

市内企業発注内容

業務内容	委託業者名	業者所在地
消防設備点検	藤沢総合設備株式会社	藤沢市辻堂元町
防火対象物点検	藤沢総合設備株式会社	藤沢市辻堂元町
受水槽清掃	株式会社フィットアップ	藤沢市大庭
水質検査	株式会社神奈川環境研究所	藤沢市石川
井水検査	株式会社神奈川環境研究所	藤沢市石川
簡易専用水道検査	株式会社神奈川環境研究所	藤沢市石川
雑用水水質検査	株式会社神奈川環境研究所	藤沢市石川
植栽管理業務(剪定)	株式会社高倉園グリーンセンター	藤沢市高倉
植栽管理業務(除草)	社会福祉法人ひばりハートピア湘南	藤沢市善行
空気環境測定	株式会社神奈川環境研究所	藤沢市石川
床面清掃	社会福祉法人光友会	藤沢市獺郷
資材調達	株式会社大塚	藤沢市鵠沼海岸
ユニホーム	有限会社板垣商店	藤沢市立石
定期清掃	さくやビルサービス	藤沢市西俣野
消耗品発注	株式会社大塚	藤沢市鵠沼海岸
建築物定期検査	株式会社ビルメンテナンス湘南リコー	藤沢市湘南台

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

6 特記事項

(1)地域住民及び地域団体との協働・連携

(2)市内経済の活性化

(3)障がい者雇用の取組



【株式会社キャリアドライブ】

・F プレイスにおける就労支援受託業務の中で、最近目立って就労相談が増加していることを鑑みて、就職氷河期世代や出産子育て後の就労支援を強化することで就労人口不足の一助になると考えます。

・当社グループ事業の顧客(年間 1.9 万人)に対して、ニーズ調査や各種の情報提供が可能となることから考えても市内経済の活性化に貢献することができます。

市内取引先商品内容

取引先	取引内容
株式会社湘南える新聞社	就労支援講座･セミナー等の広報広告掲載
株式会社ミナルキ	就労支援講座･セミナーの講師委託
NPO 日本キャリア･コンサルタント協会 神奈川オフィス	就労支援セミナーの講師委託
ウェルビー(就労移行支援事業所)	障がい者就労支援セミナーの講師協力･事業連携

【株式会社エムワイ】

・後述のレストランの特徴としてもあげられる点で、地元の会社だからできる地産地消の食材の活用をすることにより、市内の生産者への収益をもたらします。

・3+3 ウエディングとして、3+3CAFE での結婚式二次会やフォトウエディング等のウエディングイベントを開催することにより、貴市内外からのレストランの周知、また、ウエディングに使用する食材やもの、業者を率先して貴市内から取り入れることにより市内経済の活性化に寄与します。

市内取引先商品内容

取引先	取引商品
大平花園	ベビーリーフ、マイクロリーフ
株式会社ノルマ	藤沢産生ハム、鵠沼魚醤
にこにこ農園	バターナッツ　や葉物、根菜まで季節ごとの野菜
POURQOI？	パン(チャバタやバーガーバンズ)
株式会社グリーンキャビア	藤沢産海ぶどう
藤保水産	江ノ島しらす(コースが入った時など)
中戸川さん	トマト
井出農園	トマト(ケチャップ用)
千葉さん	藤沢軍鶏
藤沢ビール	ビール
ヒロシファーム	なす、とうもろこしなど
金子養鶏場	玉子
湘南グリーンサービス	観葉植物

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

6 特記事項

(1)地域住民及び地域団体との協働・連携

(2)市内経済の活性化

(3)障がい者雇用の取組

(3)障がい者雇用の取組

共同企業体各社の取組

相鉄企業株式会社

・代表企業である相鉄企業では障がい者雇用 42 名雇用しています。指定管理施設では 9 名を雇用しており、会社としての雇用率は 2.75%となっています。

・障害者差別解消法の基本的な考え方である「障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現」に努めます。

【障がい者の自立支援】

・相鉄グループでは、障がいを持つ方の自立を支援し、地域社会の福祉向上に寄与することを目的に誕生した特例子会社「相鉄ウィッシュ」があり、障がいを持つ社員が活躍しています。

・相鉄ウィッシュは、社員数 28 名（うち知的障がい者 17 名）の清掃業務を行っている相鉄グループの一員です。

・駅やバス停、ショッピングセンターなどの清掃業務を行っており、常に「お客様ファースト」を意識し日々お客様の笑顔のために心を込めて清掃業務に励んでいます。

・地域社会の福祉への貢献活動としては、相鉄線沿線の養護学校、特別支援学校等からの実習生や保護者等の企業見学の受入れを積極的に行っています。

有限会社工匠

・構成企業である工匠では、現在、清掃スタッフとして精神障がい者 2 名をパート雇用しています。

・業務委託によっても障がい者雇用の促進に資するよう、日常清掃業務については社会福祉法人光友会（藤沢市獺郷）と、建物外周等の除草作業については社会福祉法人ひばり「ハートピア湘南」（藤沢市善行）との連携を図り、地域福祉と施設維持管理を結びつける取組を進めています。

・藤沢市からの「障がい者体験雇用受け入れアンケート」については「受け入れ希望」を表明しており、今後も積極的に障がい者の雇用に取り組んでいきます。

・障がい者が働きやすいよう柔軟な勤務体制と責務分担を施策し、雇用の長期継続ができるよう職場環境の配慮を行い施設の維持管理を通じて、障がい者の社会参加の機会創出にも貢献していきます。

株式会社キャリアドライブ

・当社は、地域社会への貢献を理念とし、多様な人材が活躍できる就労機会の創出および継続的な定着支援に取り組んでいます。

・上記 3 月開所の介護施設において、4 月 1 日より湘南国際アカデミー当年 3 月卒業の精神障がい者（B2 級）を介護補助員として非常勤採用し、その後、本人の適性や状況を踏まえ、現在はドローンスクール事業部において就労しており、職域の拡張を図るとともに、継続的な定着支援を実施しています。

・グループ会社においては法定雇用率を満たしたうえで、「ブルーハンズプロジェクト」を通じて障がい者の就労機会の創出に取り組むなど、グループ全体で障がい者雇用を推進しています。

株式会社エムワイ

・一人ひとりの能力や特性に応じた、業務内容に合わせて採用を検討していきます。

・障がい者団体に、パンの販売や絵画の展示などで場所の提供をし、連携を検討していきます。

団体名　相鉄・チームふじさわ共同企業体

Ⅱ　事業計画書

6 特記事項

(1)地域住民及び地域団体との協働・連携

(2)市内経済の活性化

(3)障がい者雇用の取組

本施設における取組

日常清掃業務における障がい者雇用について

・日常清掃業務の一部について社会福祉法人光友会と連携し、業務委託する形で障がい者を雇用します。ただし、現在、社会福祉法人光友会と調整中となります。
※社会福祉法人光友会について
・社会福祉法人光友会では一般企業等にすぐに就業することが困難な知的障がい者の方に作業を提供しています。
・住み慣れた地域の中で、利用者一人ひとりが、その人らしく、活き活きと働くことが出来る社会参加の場として支援を行っています。
・市内近隣施設を中心に、アパート・マンションの清掃やワックス作業を行っています。

建物外周部除草除去作業における障がい者雇用について

・建物外周部分の除草除去業務について社会福祉法人ひばりハートピア湘南と連携し、業務委託する形で障がい者を雇用します。現在、社会福祉法人ひばりハートピア湘南と連携を取り、調整中です。
※社会福祉法人ひばりハートピア湘南について
・「共に働く喜び」を基本方針に障がいを持つ方に清掃、軽作業、クリーニング業務の作業を提供しています。
・一般企業が障がいのある方を雇用するにあたっての事前相談を受けており、また、実際に働けるかの通勤訓練や家庭との調整実習中の業務指導に協力しています。

障がい者向けの就労支援講座の実施

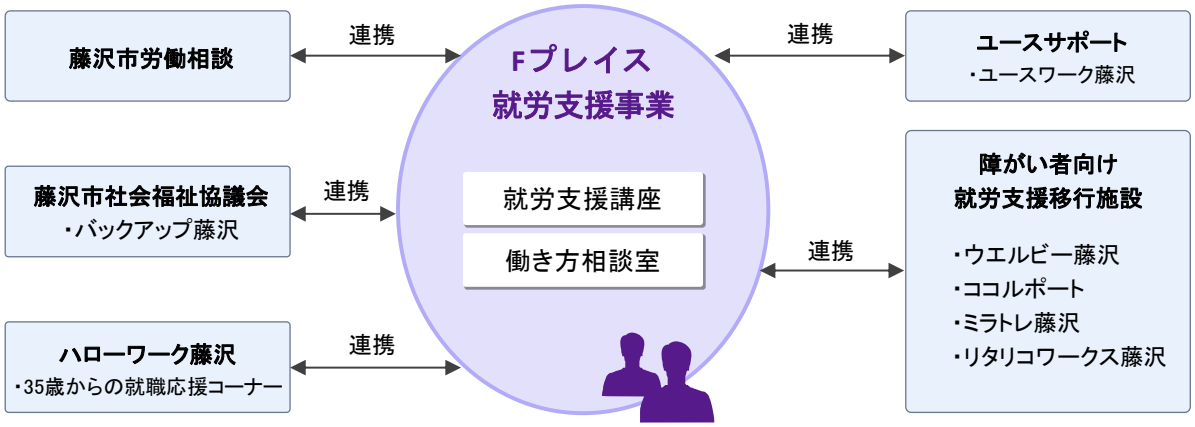
【障がいと上手く付き合う就活セミナー】

・障がい者が自立していきていくためのキャリアデザインを共に考える講座です。
・一人ひとりの状況や特性に応じた支援を行っています。
・自身に障がいを持つ市民の就労へのモチベーションアップにつなげられるように配慮しています。

就労支援コーナーにおける障がい者への就労相談・支援の実施

【働き方相談室（キャリアカウンセリング）の実施】

・市民一人ひとりに合わせてきめ細やかな就労支援が出来るように、職業指導の専門的知識を有する国家資格キャリアコンサルタントがお手伝いをします。
・対面での丁寧なヒアリングを重視するとともに、対面参加が難しい方に対してはオンラインを活用したハイブリッド形式にも対応し、障がい特性や体調、移動負担等に配慮した安心して参加できる環境づくりに努めています。



就労支援事業における地域連携